

九州共立大学工学会誌

1989. January No.6



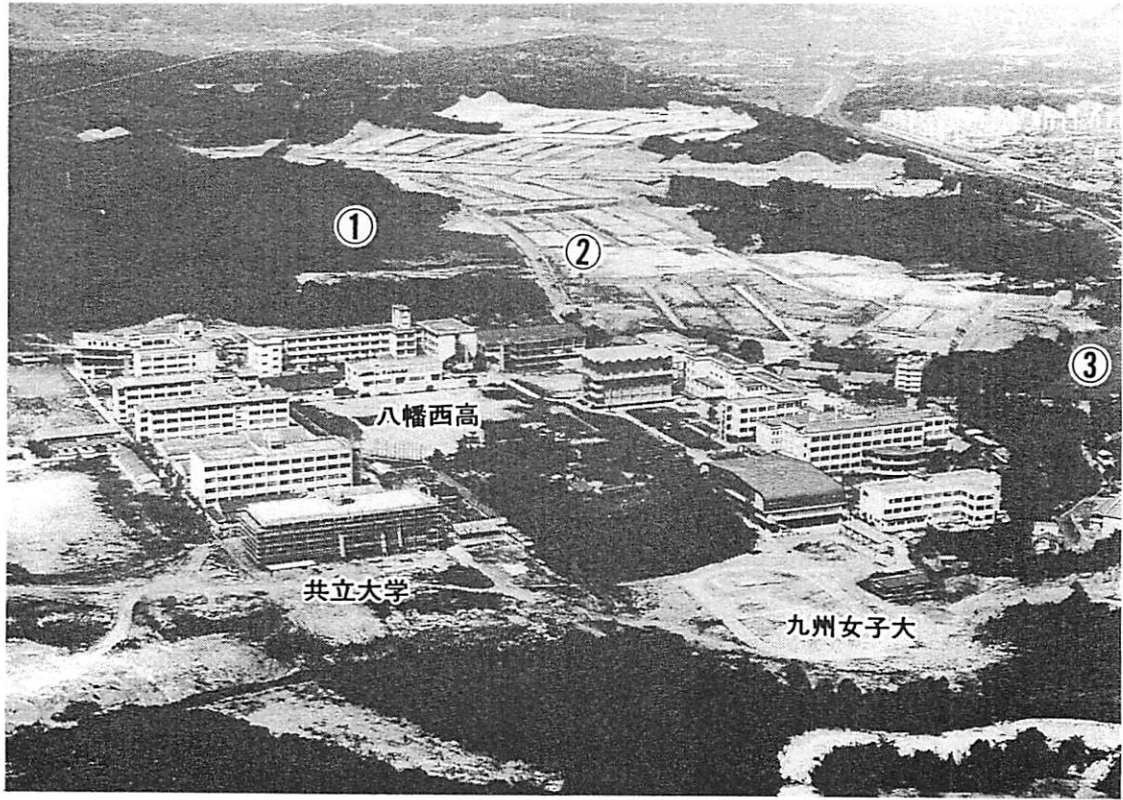
おりお

COM 1989・JANUARY No.6

『おりお』

目次

- | | |
|-------------------------------|------------------------------------|
| 1. 昭和48年当時の大学近郊…………… 1 | 8. 学生現住所調査（工学部）……………36 |
| 2. 折尾の町に思い出を
〈諫山幸男〉…………… 2 | 9. 郷土紹介……………38 |
| 3. おりお…………… 3 | 10. 海外研修旅行記 No.7
〈香港・タイ〉……………48 |
| 4. 折尾の街知っとうや！…………… 4 | 11. 研究室だより……………58 |
| 5. 折尾今昔そして……………21 | 12. あなたの知らない世界……………73 |
| 6. 学園都市シンポジウム……………26 | 13. 編集後記……………75 |
| 7. 大学！！ 共立！！ 今ここに語る！…28 | |



昭和48年撮影
① 産業医科大学 ② 大浦住宅街 ③ サンリブ折尾

ゆく河の流れはたえずして
時は流れ、人は移り変わる。
そして今、街が変わろうとしている。

折尾の町に思い出を

諫山幸男 / 工学部長



私が折尾の町の近くに住まいするようになって4年半、まだよそ者といった気持ちが抜けきれないでいるが、今回、大学祭のイベントの一つとして催されたシンポジウム「学園都市折尾のまちを考える」に出席して、いろいろ考えさせられることが多かったように思う。

基調報告のアンケート資料をみると、北九州市内に大学・短大が11校あり、そのうち6校が折尾地区に集中していること、また人口100人に対する学生数では北九州全市で2.0人、折尾地区では7.4人と、数字の上からも学園都市折尾という言葉が裏付けされている。しかし、その学園都市にあって住民の54.7%が学生に対して何らかの不満をもち、61.7%の人がこれ以上学生が増えてほしくないというアンケート結果を見たとき、本当に大学人として何か割り切れない気持ちになった。学生に対する不満も単なるうわさや誤解によるものも多いことだと思うが、学生諸君も一時的にしろ、折尾住民のひとりとしての自覚に立って良識ある言動を示してほしい。しかし、各地の古い大学町に見られるように学生達が町の人達から異和感なしに受け入れてもらえるようになるためには、まだまだ長い年月と相互理解の努力が必要だろうと思う。

僅か4年間の学生生活を送るために、全国各地から折尾の町に集まり、卒業後は社会人として巣立って行く学生達に、何か一つでもよいから思い出として残るものにと………そういう折尾のまちでありたい。

おりお

この度、私達の町折尾を見直すという事でこのテーマをとりあげることになりました。皆さんは、“折尾のイメージは”と聞かれて何か答えられますか。自分が住んでいる所の事を何も知らないという事はさびしい事ではないでしょうか。そこで、折尾をより皆さんに知ってもらうために、まず、簡単に折尾の歴史をご紹介します。



古くは、永犬丸^{えいぬまる}貝塚や柳原貝塚が見つかったように、縄文後期からすでに折尾には村が存在した由緒ある土地柄であります。

また、室町時代には「折尾」という名が使われており、宗貞盛が小宮四郎に与えた土地であります。その当時の名が折尾郷とついでおり、地域としても今の折尾とは違い水巻町吉田・古賀・頃末・杵、八幡西区則松・折尾・永犬丸・本城などが含まれていました。そして、江戸期からは折尾村と呼ばれ、また、堀川の開作などにより折尾は発展を始めていき、船搬運輸から明治に鉄道が出来た事により、鉄道運輸に移り折尾の町は発展をとげていきました。

そして、大正から昭和初期には遠賀郡の自治体名として折尾町と名付けられた。その後、折尾と呼ばれ、八幡市、北九州市八幡区、同市八幡西区の一部となり現在に致っています。交通機関の発達に伴って、折尾の町は学園都市となって来ました。

大 浦 編

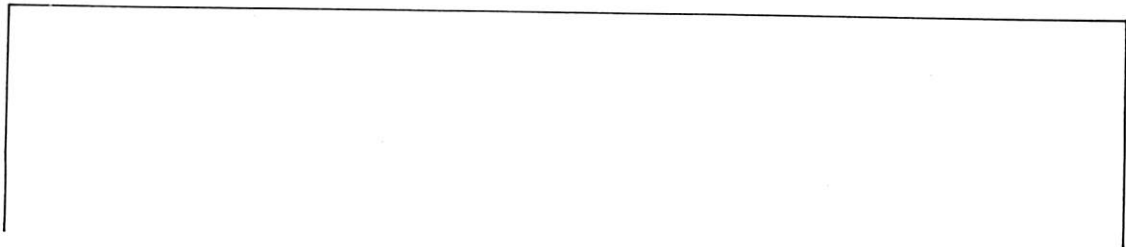
ルーセル ●	はる ●	HANADA ● かっぺ ●	メディア9 ●	大 医 産
--------	------	-------------------	---------	-------

● ピザ・フアクトリー
アメリカカン

学園大通り

セブンイレブン	● そあれ	● 散歩道	● BIC CLUB	● ルックメイト
サンリブ				

国道199号線



AMERICAN PIZZA FACTORY

TEL 603-3733

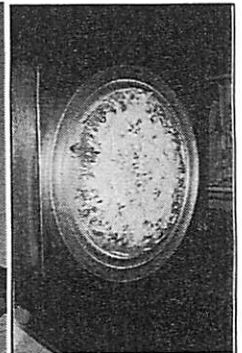
営業時間

平日 17:00 ~ 23:00

土曜 12:30 ~ 24:00

日・祝 11:30 ~ 23:00

定休日 なし



▲おすすめ

コンビネーション5
¥2,000

ここは持ち帰り専門店で、いつでも電話一本でアツアツのピザを持って来てくれます。一番の人気の品は、アメリカンコンビネーション^{ファイブ}5という5種類の具が入っている、直径23cm, 30cmのピザがよく出ています。こちらの店は、アメリカンピザ独自のルートから仕入れたチーズを使っており、チーズ独自のあの臭みがなくてチーズ嫌いの人でもおいしく食べられます。又、組み合わせでベーコン、ツナ、コーンを入れると、新しい感覚を味わうことが出来ます。

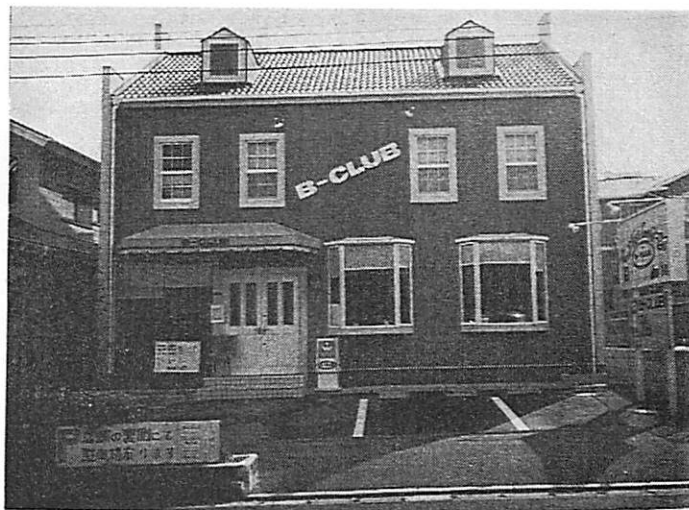
B-CLUB

TEL 601-9673

営業時間

10:00 ~ 22:00

定休日 第3月曜日



▲おすすめ

白身魚セット
¥900

産業医科大学の正門前のこのお店は、1987年にオープンした比較的新しいお店。店内は、大人っぽいシックな造りになっていて、いい雰囲気。

このお店のおすすめメニューは、なんといってもコーヒー、強い苦みの中にさりげない甘み、そしてなんともいえないふくよかな香り、お茶の時間や食後に飲むともう最高。一度飲んでみる価値あり。他にも人気メニューとして、トンカツセット、白身魚セット、カレーピラフ etc。

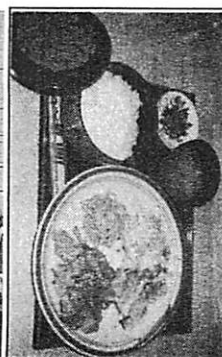
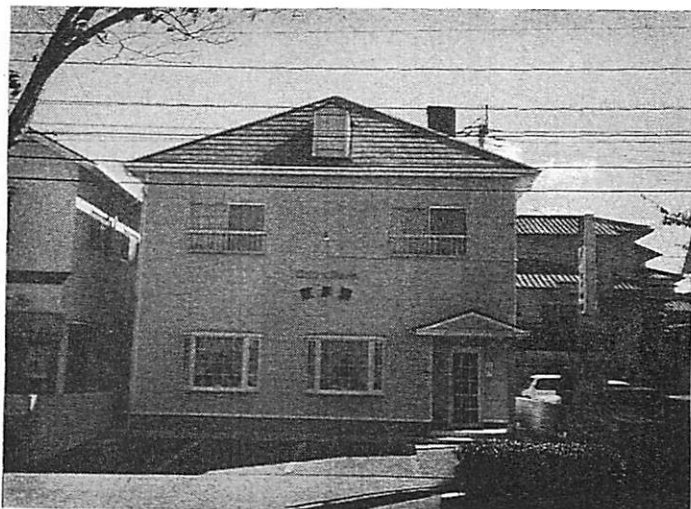
散歩道

TEL 602-9190

営業時間

9:30 ~ 23:00

定休日 隔週木曜日



▲おすすめ

生姜焼定食

¥760

産業医科大学の正門前から西へ、歩いて3分。白くてかわいいお店が見えてくれば、それが喫茶&パブ「散歩道」です。

昼は喫茶店、夜はパブと2つの顔を持つこのお店のマスターは、物静かな人で美味しいコーヒーをいれてくれます。おすすめメニューとして、「散歩道定食」「生姜焼定食」などです。

店長さんいわく、老若男女問わず、誰でも気軽に来てくださいということでした。

喫茶

そあれ

TEL 603-5035

営業時間

9:00 ~ 22:00

定休日 第1・3土曜日



一歩店内に足を踏み入ると、ホッとくつろげる様な明るいお店。メニューはすべて手作りの本格派で、いつも大学生、女子大生、先生方や一般のお客さんと賑っています。

一番賑うのは昼、夕食事やティータイム(2:30~5:30)です。そして何よりも特筆したいのは、雰囲気でしょう。静かで、明るく、そして家庭的な独特な感じ。お店では、コンパなども受け付けていますので相談してはどうですか。

ここでは、気軽にくつろいだ時を過ごせることが受合いです。

お好み焼

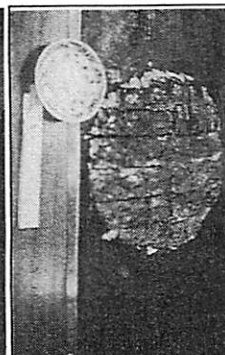
はる

TEL 601-9672

営業時間

11:00 ~ 22:00

定休日 毎週火曜日



▲おすすめ

まんぷく焼

¥1,500

この店は、古風なので一見入りにくいのですが、一度入れば店の人がとても親しみやすいお好み焼屋さんです。安くて大きくてボリュームがあって、もちろんおいしいと言う事をモットーとしており、おすすめ品としてのまんぷく焼は、3枚分の量があり、中には16種類の具が入っていて、一口一口違う味がし、1つのお好み焼で何種類も食べたというまんぷく感があります。昼と夜の食事の時間帯は混み合うので、少しずらした方がよいでしょう。

Cafe de Brasserie

HANADA

TEL 601-1487

営業時間

11:00 ~ 22:00

定休日 第2水曜日



安くて箸で食べられるフランス料理というのがキャッチフレーズで、フルコースは2,500円から有り、もちろんランチなどもある。パーティーや誕生日会などの利用も多い。昼食事の12時~14時頃が少し混み、夜は予約なしでもフルコースが食べられる。

気さくな店主と落ち着いた雰囲気の店内でした。2,500円以上のフルコース注文の方で、COMの雑誌を持参の方は、ピザがプレゼントされます。

コーヒー & 居酒屋

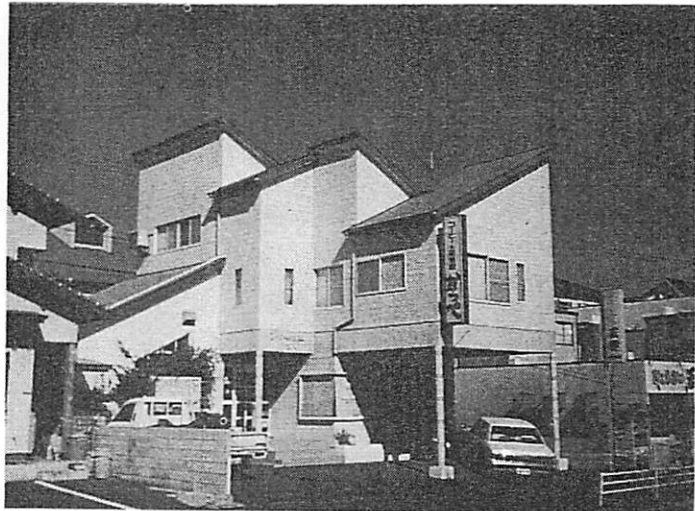
かつぺ

TEL 603-0046
601-9577

営業時間

17:00 ~ 2:00

定休日 毎週日曜日



▲おすすめ

キモダメシ

大浦3丁目にあるこのお店は、学生の入りやすい居酒屋で、食事も楽しめるお得なお店。

この店のおすすめメニューは、キモダメシと肉ジャガ。キモダメシはモツを香辛料でいためたもので、モーレツに辛くて、これだけでお酒が3杯は飲めてしまう。モツ独特の臭みがないので、モツが苦手な人にもおすすめ。肉ジャガの方は、まさにおふくろの味。他にも『男と女のおつき合い』とか『アメリカぞうすい』などetc。

「この店では無理な一気飲みはさせん。」と語るこの店のオヤジさんは、学生の親身になって相談にのってくれるたのもしいおじさん。いいお店やけ、一度行ってみんしゃい。

焼き鳥

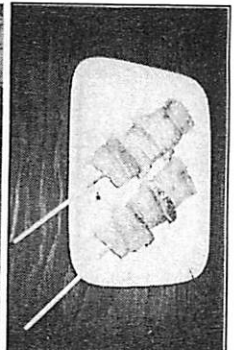
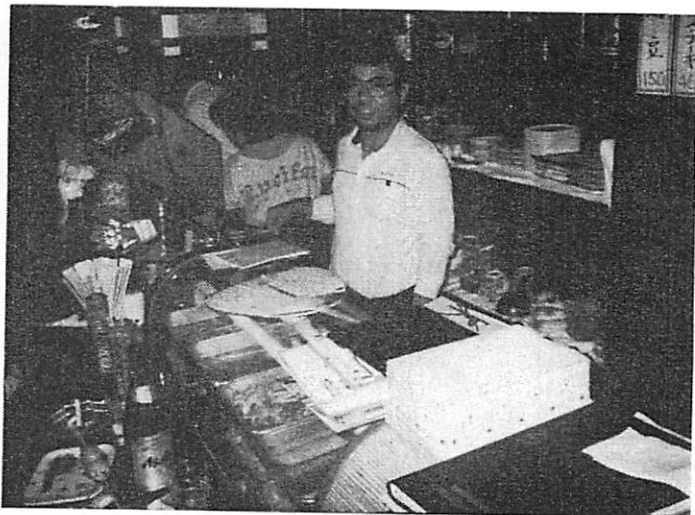
ルーセル

TEL 603-0281

営業時間

18:00 ~ 2:00

定休日 なし



▲おすすめ

バラ

この店は、共立大学と九州女子大学の体育部御用達のお店で、いつでも学生がいる。

この店はたくさんエピソードがあり、例えば、カラオケを一晚に70曲歌った女子大生や焼酎を2升6合飲んで車を運転して帰った共立大生など、話のねたがたえないとの事。

このお店のおすすめは、なんといっても大きなバラ。大きくて歯ごたえがあり、お酒のつまみには最高！友人いわく、折尾どころか北九州市内でもこれほど大きなバラを食わず店は少ないとの事。この店では共立大内では考えにくい女の子との出会いもありうるので、つどえ新入生諸君！！

メディア9



コンピューターのソフトを主に扱うお店です。
 NECのパソコンはもとより、各社パーソナルコンピューター、ファミリーコンピューターなど家庭用ゲーム機器のソフトのレンタル、中古販売を行っていて、普段は学生さんで賑わっています。
 次に気になる入会金、レンタル料金ですが、入会金は破額の1,500円、レンタル料金は定価の15%引きです。
 尚、ソフトレンタルだけではなく本体、ソフトの販売もしており、ゲーム機器の新作ソフトが25%引きでレンタルできるという所が目玉でしょう。



TEL
601-6346
 営業時間
 11:30 ~ 19:30
 定休日 なし

ルックメイト



産業医科大学の目の前にあるビデオ・CDレンタルのお店です。
 ここのお得なところは、地の理もさることながら、会員料(入会金)が無料という点でしょう。そして3本以上借りると1泊2日が2泊3日になるという事はとっとうれしいサービスです。
 またCDの中古の格安販売も行っており、足の運びやすいお店として親しまれています。



TEL
601-9586
 営業時間
 11:00 ~ 0:30
 定休日 なし

学

園

大

通

り

編

サンリブ

国道199号線

● Oh・サム

Fan Fan ●

エトセトラ ●

学園大通り

● トップマートみね

● 穂波食堂

BIG BOX ●

● 寿寿書店

● 折尾警察署

● さかえ屋

● インディゴ ● アルファ
● オレンジ停

● みくにや

折尾駅

● トランドル

● メイ・ラン・ファン(西鉄ビル2階)
● YOU & I

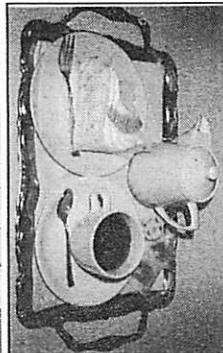
さかえ屋

TEL 603-7570

営業時間

9:00 ~ 21:00

定休日 なし



▲おすすめ

ケーキセット
¥350

店内にはいると、お菓子屋だけのように見えるが、二階は喫茶店になっている。主な学生は普段、二階を利用しているようだが、帰省前などは、おみやげを買いに下のお菓子屋を利用するようです。

喫茶店で人気のメニューは、季節により変化するが、夏はフラッペ、冬はケーキセットなどに人気があり、お菓子としては、『なんばん往来』『すくのかめ』といったものに人気があるそうです。お菓子については「王様」を自認するこの店には、目的のお菓子はすべて置いてあるとのこと。

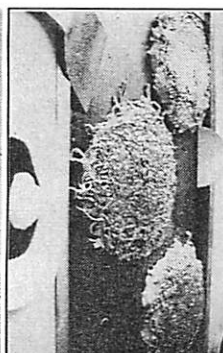
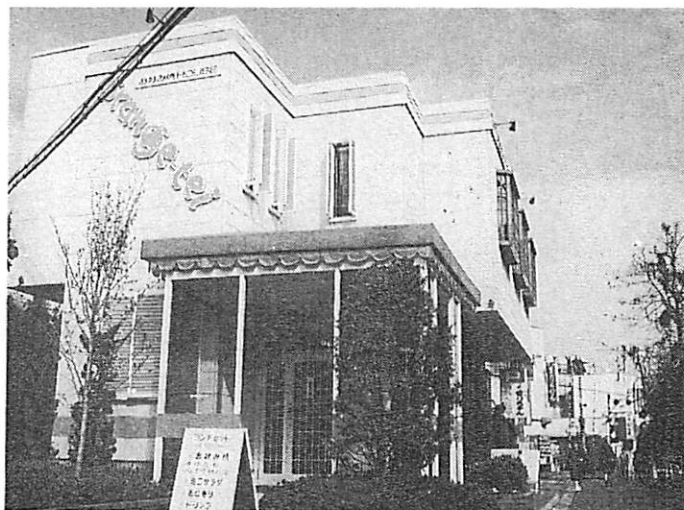
orange tei

TEL 602-9199

営業時間

11:30 ~ 20:30

定休日 なし



▲おすすめ

ミックス+ソバ
¥600

この店は一般の人は少なく、学校帰りの学生や高校生が多い。だから混み合うのは昼食時からで、鉄板と若者の熱気で溢れている。

お勧めメニューは、ハッピーメニューとランチ、火、木曜日はサービス日で、お好み焼き ¥380→¥300、ミックス焼き ¥500→¥400に割引される。

COMの割引券を持参された方は、ジュース・コーラ・アイスコーヒーのいずれかをサービスします。おちついた感じの店なので気軽に入られては。

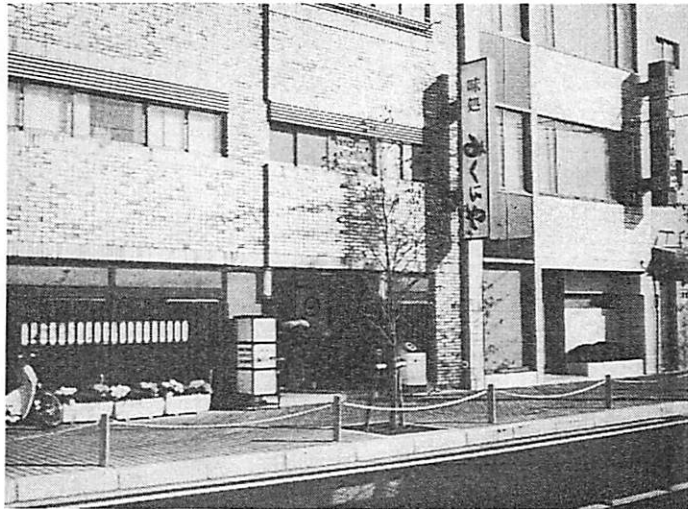
みくにや

TEL 602-3928

営業時間

11:00 ~ 22:00
(出前は20:00まで)

定休日 第2・4月曜日



▲おすすめ
日替り定食
¥680

店の中に入ると落ち着いた感じの所で、学生は主にコンパなどで利用する様です。

人気メニューとしては、昼は定食物、夜は寿司、刺身がよく出るそうです。店では新鮮な魚を使った刺身が自慢、そして「みくにや」の屋号では50年の歴史を持っているそうです。2階にはパブスナックがあり、夜7時頃から営業しているそうです。

静かな雰囲気、うまい活魚料理を食べたい人はオススメの場所です。

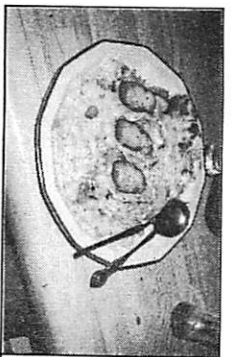
MEI-RAN-FAN

TEL 691-1661

営業時間

11:30 ~ 22:30
日祭日 22:00

定休日 なし



▲おすすめ
チャイニスピラフ
(大盛り) ¥530
¥430

折尾駅前の西鉄乗り場をちょっと上った所に、このお店がある。こじんまりとしたこのお店の中は、とても明るく、一見喫茶店風、女子の学生がよく食べにくるので自然とこうなったとか。このお店は、中華料理の中でもギョーザ専門のお店を自称するだけの事はあって、ギョーザは一級品、一食の価値は絶対ありよ。

オヤジさんは、職人気質の人で、もくもくとギョーザを作っている。ギョーザは10個300円で、テイクアウトも可能だから、そっちの方もよろしく。

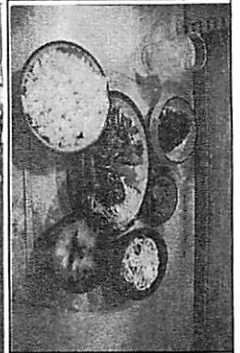
穂波食堂

TEL 691-3606

営業時間

10:00 ~ 22:00

定休日 なし



▲おすすめ

生姜焼定食

¥600

この店は「飯屋」ということで古くから売っています。この大学ができる前で、お店が二軒しかなかった頃からの店です。

学生が多く、以前は丼物の注文が多かったが、最近は生姜焼定食やカツ定食などの定食物が多いそうです。一般の人は焼魚などが多いそうです。その他出前もあり、ちゃんぽんの注文が多く美味しいと評判です。

おねいさん(?)が以前の折尾の様子を話してくれるので、この店の常連になることをお勧めします。

ETC エトセトラ

TEL 691-6665

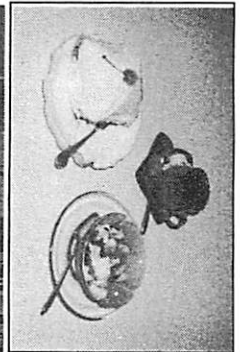
営業時間

10:30 ~

喫茶店 19:30

ケーキ屋 20:00

定休日 第1日曜日



▲おすすめ

ケーキセット

¥500

店を外から見るとケーキ屋だけに見えますが、店の中は喫茶店もやっています。店内に入るとテーブルの並びなどは、女の子が好みそうな感じで、お客は、女子大生が多く、混み合う時間は、PM12:30~PM2:00の間だそうで、ケーキ屋のほうは、売り切れしだい、閉店になります。

お客に人気があるメニューは、ドリアとケーキセットで、推薦されたメニューは、スパゲッティーとサンドイッチです。スパゲッティーの推薦理由は、メニューの数が多いことだそうです。

店のモットーは、「家庭的な温かい雰囲気」ということなので気軽にのぞいてみてはいかがかな!?

トランドール

TEL 692-0813

営業時間

7:00 ~ 21:00

定休日 なし

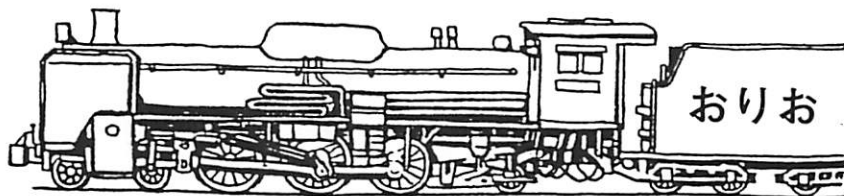


▲おすすめ

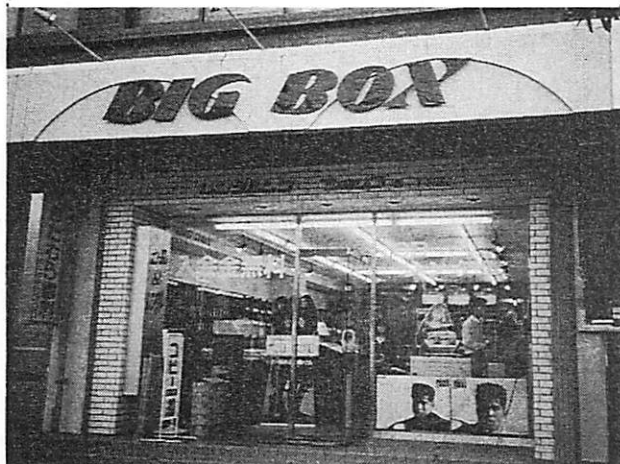
クリーミーデニッシュ

¥100

駅のそばにあるこのお店は、JR直営のパン屋さんです。焼きたてのパンがその場で食べられるお店で、女子学生に人気。この店の特徴は、1日に最低3回パンを焼いて、3時間おきに新しいパンが店頭へのぼることで、人気があるパンは、クリーミーデニッシュ（カスタードクリーム入り）とミルクフランス（バターとミルクの練乳で作られている）です。各々1日100個作られているそうです。店の中は、明るくとてもお洒落でくつろげる雰囲気がかステキで、“ちょっと”という感じで寄られるお客さんが多い。



BIG BOX



こちらの店は、学園大通りにあるだけに学生の会員数も多く、在庫数もかなりたくさんあり、月の入荷数もけっこう多いです。

入会金は無料で、特典としてCD 3枚以上貸りた人にはサービス券が、当日返却の人には割引サービス券がもらえます。

この店の雰囲気は、若者向けのシャレた感じで、ディスコ、ユーロビート系のジャンルも数多く取り扱っていますのであなたも会員になって貸りてみてはいかがですか。



TEL
691-3068

営業時間
10:00 ~
22:00

定休日 なし

FAN FAN



九州女子大バス停前にあるこのお店は、北九州市内でも、1、2を争う有名な中古レコード店です。店内には、ロック、ヘビーメタル、ジャズ、クラシック、ニューミュージック等のありとあらゆるジャンルのレコードが、常時1万枚以上の在庫があるのは、店長さんの自慢の一つ。この店の店長さんは、スリムでやさしそうな人で音楽の事ならジャンルを問わず、なんでもこいのたのもしなお兄さん。廃盤になってしまったレコードをさがしているあなた、このお店をのぞいてみてはいかが!!さがし物が見つかるかもよ。



TEL
602-7096

営業時間
10:00 ~
22:00

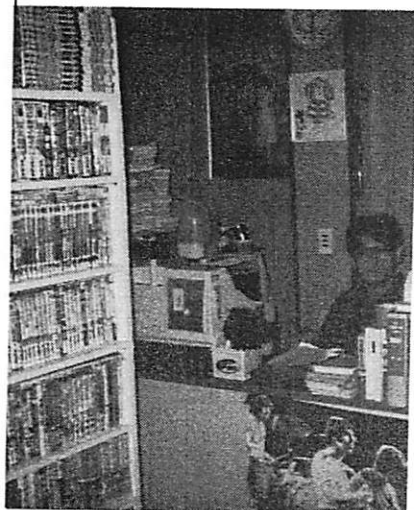
定休日 なし

寿寿書店



ここは開店して2年あまりの新しい店です。店長さんは、大のオカルトファンで店内におかれている本も、オカルト関係で特に充実している。マンガ本もたくさん置いてあり、かなり古いものまでそろっている。マンガの好きな人にとって必見のお店。

店長いわく、「地域社会の向上に貢献したい。」とのこと。店長さんは、もと神主さんなので、おもしろい話が聞けるかもよ。



TEL
603-0380

営業時間
13:00 ~
20:00

定休日
隔週日曜日

インディゴ



折尾駅から歩いて5分、モスバーガーの隣にあるこのお店は、最近店内を改装したばかりで、この折尾では唯一ジーンズを専門に扱っている。

ヤング向けの店内は、商品のレイアウトも他の店とは一味変わっていて、店内が暗くならないように工夫されている。

「最近のお客さんは、ブームなどに流されず、自己流の着こなしをしているのはいい傾向ですね。」と語る店長さん。気軽にのぞかれてはいかが。

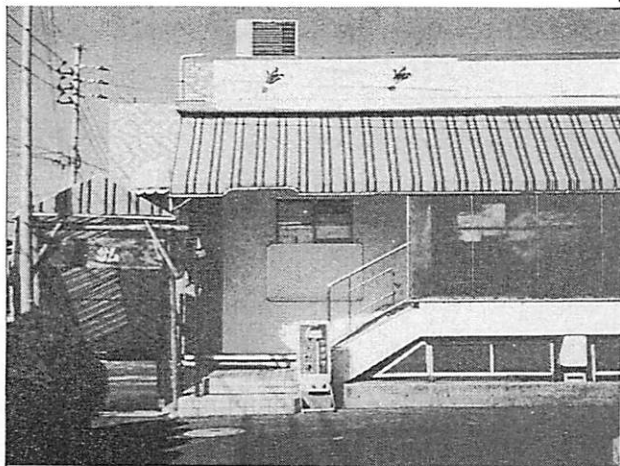


TEL
601-5854

営業時間
10:00 ~
19:30

定休日
第2・4木曜日

roh-サム



学園通りの九州女子大、サンリブ折尾を目の前に望む場所にある賑やかな所にある雑貨店さんです。やはり学園通りにあるだけあって学生に人気があって、夕方頃がお客さんで賑わいます。お客さんは女性の方が多く、男性の方も普通よりは多いそうですが、男性の方々もどうでしょうか。

次に、お店では、アメリカの雑貨を中心に取り扱いっており、中国雑貨もそろっています。主にバック、帽子、ライト製品が人気があり、親しみやすいお店です。一度足を運ばれたらいかがでしょうか。



TEL
603-3834

営業時間
10:00 ~
19:00

定休日 なし

トップマート みね



学園大通りのなかほどにあるこのお店は、大通り唯一のお酒を販売している店。

店内は明るく、こじんまりとしていながらも商品が整然とならんでいる。本来が酒屋さんということもあって、お酒の種類が多くとりそろえられていて、お酒の好きな人にとってはたまらない存在。今年の夏はビール、特にドライビールがたくさん出て大忙しだったそうで、このブームはもうしばらく続きそうだとのこと。

学園大通りでは古株のこのお店、折尾で道にまよった時にちょっと入って道をたずねてみれば？



TEL
691-0362
691-3715

営業時間
9:00 ~
22:00

定休日なし

YOU & I



この店は、駅前にあるので学生会員数も一般会員数も多く、ジャンルもクラシックからロックにいたるまで9つあります。さらにありがたいことには、輸入盤も扱っているので、ちょっと他のレンタル屋には見られないことです。特典も、会員になると無料券が2枚ももらえ、月に一回キャンペーンをやっており、そのうち一年に三回は抽選会が催され、一等は、コンサートや映画のチケットが手に入ります。

YOU & I は、学生に少しでも喜んでもらえるように努力している店です。



TEL
691-3727

営業時間
10:00 ~
22:00

定休日 なし

レンタルビデオ α



このお店は、交通量の多い道に面していることもあって、学生の他にも社会人の方もよく立ち寄られます。

このお店の特長は、入会金が無料で、2本以上レンタルすると1日のレンタル料で2泊3日貸りることが出来るということです。また、他のビデオレンタル屋さんあまり品数をそろえていないアニメも、たくさん置いてあります。一本のレンタル料は¥300~¥500です。

洋画などの新作ビデオは少し早めにレンタルされることもありますので、早く見たい人にはおすすめのお店です。



TEL
603-5485

営業時間
11:00 ~
24:00

定休日 なし

折尾今昔そして…

折尾の町を、そして学生の移り変りを長年に渡って見てこられた方々に、折尾の今昔そして未来について語っていただきました。

折尾駅今昔

現在の折尾駅の駅長さんは、折尾にお住まいをかまえられて20年、JR職員としてまた地元住民として折尾を見てこられた方です。

記者 はじめまして、本日はお忙しいところ申しわけございません。本日は折尾の移り変わりについてお話をうかがいたいと思いますのでよろしくお願いたします。

では、さっそくですが折尾の学生についておうかがいしたいのですが。

駅長 そうですねえ。私もあまり今の学生さんと話をする事がないですからねえ。(笑)

まあ、私の目から見て学生さんの質は良くなったですね。昔の学生さんはようケンカしとった。西高の生徒やら朝鮮学校の生徒やら電波学校(現福工大付属高校)の生徒やらがよう駅の近くでケンカしよったですよ。それともう1つ感じる事は、今の学生さんは金を持ちちよりますねえ。車乗りまわしたり、毎日外食したり、まあ私らのこづかいよりよっぽど持つとる。(笑)あと昔と違う点は、バンカラ学生がおらんようになりましたね。私なんかもその口だったから時代の流れとはいえさびしいかぎりですよ。



記者 そうですか、今は高校生もお金を持っていますからねえ。ところで昔の折尾と今の折尾とでは変わったというところでしょうか。

最初の質問とのからみでも結構ですから1つおうかがいできますでしょうか。

駅長 さっきの質問と重なるかもしれませんが、学生アパートや学生マンションがここ数年でものすごく増えましたね。それも家賃が4万も5万もする様なやつがね。昔はそんなアパートやマンションがなかった事もあるんだろうけど、昔の学生は清貧に耐えとったねえ。小汚たない長屋や炭釜の住宅に住んどった。まあ時代の流れとして生活の水準も高くなったんだろうけどね。

記者 それ以外に昔に比べて折尾が変わったという所はないんでしょうか。

駅長　うーん、そうですね基本的には良きにつけ悪きにつけ
変わっていませんね。

折尾の町は、本来筑豊からの石炭で栄えた町なんです
よ。それが昭和30年代の終り頃から町はだめになってき
ましたね。その頃は折尾駅の周辺も飲み屋だらけでして
ね、筑豊から来る人で、すごくにぎやかな町でしたよ。だ
けど石炭がだめになってから本当にだめになりましたよ。

まあ最近では、町の周辺が住宅地として発展しよんので
が中心部は今一つねえ……。

黒崎なんかね昭和35年くらいまでは蓮根のはえとる
ような何もなし所だったんだけど今では黒崎の方が発展して昼も夜も遊べる町になりましたもんね。本来は折
尾の方が発展する要素があったんですよ。なにせ遠賀4町村の行政都市やったんですからねえ。



記者　そうですか、ところで折尾は学園都市として発展してきているのですが、その折尾の町を色に例えるとすれ
ば何色になるとお思いますか。私個人は生活の実感が感じられないという事で無色だと思うんですが。

駅長　色ねえ、そうやね君の言うとおりかもしれないね。でも少し前までの折尾は本当に暗い町やったよ。本当に
一頃に比べれば折尾は明るくなってきたと思う。今ちょうど明るさと暗さの間の時期にあるから無色という
ふうに感じるんだと思うけどね。それにね折尾という町自体がよそから来た人が多い町でね、古くから折尾に
住んでいる人は駅の近くにしかいないからその事もそういう雰囲気というか空気を作る一因になっているんじ
ゃないかねえ。ただこれからの事からいえば炎の赤に例えていいやろうね。

実のところ折尾という町は今まで北九州市内でも最も行政の手入れがおくれた町だったんやけど、学園大通
りもよくなったし、大浦には総合体育館はできるし、急にというわけにはいかんだろうけど絶対いい町にな
ると思うよ。

記者　たしかにそうですね。共立大の前の道の拡張工事もしまりましたしね。私の目から見ても折尾の再開発は順
調に進んでいるようですね。さっき私が学園都市ということをついたんですが、これからの学園都市はただ学
究都市という意味と別に若者の町という事が条件になると思うのですが、その点折尾はまだまだだと思っ
ますがそのところどういう風にお考えでしょうか。

駅長　そのとおりでですね。私の目から見ても若者は折尾にいついてないですねえ。

平日の朝の通学時間と夕方の帰宅時間には、学生さんで駅はあふ
れかえっているのに土曜の午後や日曜なんかはバラバラしかいませ
んものね。

折尾には遊ぶところがないから、博多や小倉や黒崎へ行きよん
のでしょうけどね。

今の折尾には学生を引きとめる力がないんだろうね。たしかに若
者向けの店は少ないし飲み屋はおばちゃんばかりやしね。(笑)

学生さんがセンスのいい店の多い小倉や黒崎にながれていってし
まうのはわかる気がするね。それに女の子も多いし。(笑)



記者 同じように大学が多いという点からいえば香椎なんかも学園都市といえますよね。

駅長 そうねえ、たしかに香椎なんかも学園都市といってもいいでしょうね。ただ香椎は学生をひきとめるという点においては折尾よりうまくいってますよね。駅の近くにも学生さんの喜びそうな店がたくさんあるし、まあそこところは香椎から学ばんといかんでしょうね。折尾の町はなんというても学生さんがおらんかったら本当になんにもない町ですもんねえ。(笑)

記者 そうですね、それでは最後に今後折尾はどんな町に発展していくでしょうか。またどんな町になったらいいとお思いでしょうか。

駅長 この折尾の町を巣立っていった学生さんがなにかの折に近くへ来た時にあなつかしいな寄ってみたいなど思えるような若者の町折尾になったらいいなと思うとります。

記者 本日は、お忙しいところありがとうございました。

(文中敬称略)



折尾学生住宅事情今昔

学園大通りと国道199号線が交わる十字路の近くにある不動産の巨産の社長さんは、店の移り変りの激しい学園大通りにおいて5年にわたり学生を見てこられた方で、学生に対する理解も深い方である。

記者 本日はよろしく願いいたします。さっそくですが折尾の学生の今昔についておうかがいしたいのですが。

社長 そうねえ、ここ2年学生の質は良くなったねえ。あんまりもめごともしないし、まあアパートを斡旋する側してみればありがたい事だね。昔は学生同士が住宅地でケンカをしてね、よく私も止めに行ったものですよ。ただね、これは質が良くなった事と重なるかもしれないけど、今の学生さんはおとなしいといふかなんというか、あまり自己主張をしなくなりましたね。昔の学生さんはアパート選び1つとっても力強く自分の好みを主張してましたよ。ところが今の学生さんはそれをしない。バンカラ学生といふか硬派学生といふのは時代遅れで絶滅しちゃったのかねえ。(笑)

記者 いわゆる新人類というやつですね。実は私もその1人なんですよ。(笑)

社長 だからといってその新人類の学生さんがただおとなしいかというと、そうじゃないんだよね。1人ではなにもできないだけの事なんです。大勢あつまると昼といわず夜といわず大騒ぎをする。それも節度を知らない、そんな苦情をよく耳にしますよ。

記者 そうですか、それはどうも申し訳ございません。(笑)ところで今苦情という話が出ましたが、他にどんな苦情がくるんでしょうか。それと今と昔を比べて苦情の内容や件数は変化したんでしょうか。



社長 そうねえ、今も昔も変わらず来る苦情というのはマージャンやステレオの音についての苦情でしょうね。昼や宵の口ならいざ知らず、一晩中マージャンをしたり、音楽を鳴らされたりしたら同じアパートに住んでいる人や隣近所の人にしてみればたまらんですよね。

だいたい常識がなさすぎるよ今の若い人は。あのね、常識というのは、人の事を思いやる気持ちなんです。それが今の若い人、特に学生さんにはなさすぎますよ。

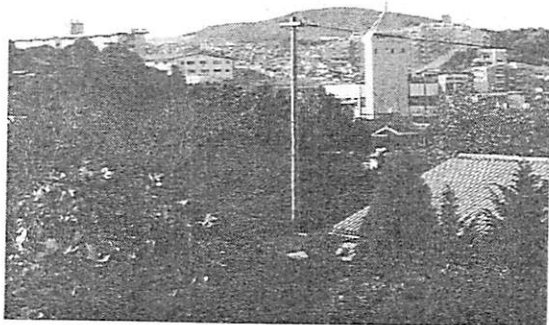
それと最近になって増えたのは車の不法駐車、それも人の家の車庫の前に平気で車をとめる。

学生さんが金持ちになって車を買って乗りまわすのは、まあよしとしてもです。人の家の車庫の前に車をとめて平気な顔をしているなんてあまりにも非常識でしょう。親御さんがどんな躰をしてきたかは知りませんが、やっぱりだめな事はだめなんです。最近学園都市折尾なんていう事をいって折尾周辺の大学と地域との関係を強めていこうとしてますけど、その中心となる学生さんがそれではいけませんよ。学生さんもね、郷に入れば郷に従えという事をしっかりと意識していないと地域から浮いた存在になっちゃうし、いざというとき地域の人の協力も得られないと思うんですよ。

話は多少それちゃったけど苦情というのは非常識な行動からきますからねえ。

記者 諫言耳が痛い思いがします。それでは最後に、折尾について、学生について、なんでもよろしゅうございますので一言お願いいたします。

社長 そうねえ、これから折尾の発展の方向は変わってくると思います。共立大学をはじめとして折尾周辺の大学を中心とした学園都市としての発展です。その発展をおし進めるためには、地域住民、大学そして学生が一体にならないといかんでしょう。だからこそ学生さんと地域住民とが手を結ぶためにもより一層学生さんの常識ある行動を望みたいものですね。



記者 本日はどうもありがとうございました。

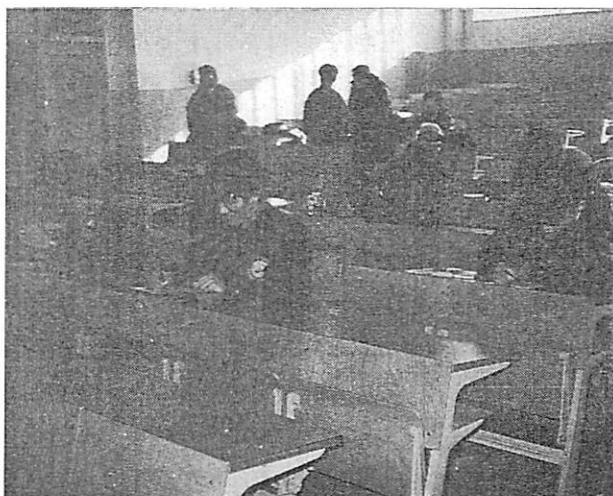
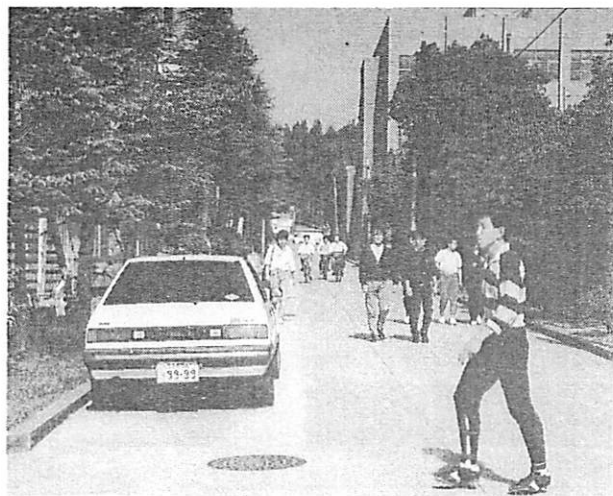
(文中敬称略)

取材後期

折尾の地に住みついて早1年半がすぎた(これが活字になるころには2年目に入る), そうして生活していくなかで私自身, この折尾に対して少なからず不満を持ち続けている。

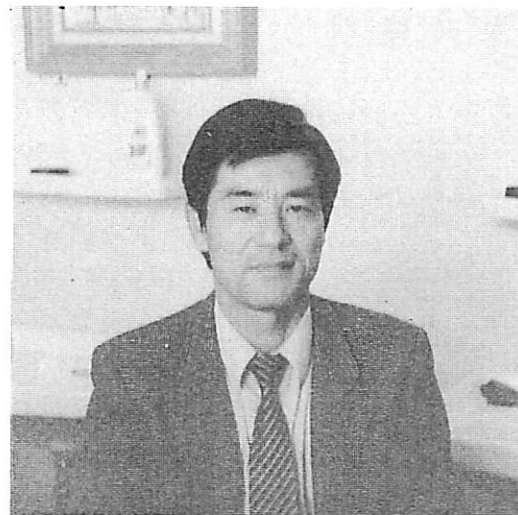
「なんて個性のない生活のにおいのしない町なんだ」これが私の折尾に対して最初にいただいた感想であり今も持ち続けている不満である。某氏に言わせれば現代の若者は生活のにおいを嫌がるそうだが, 田舎者の私はそれが無いとさびしい感じがする。例えば清潔な病院より雑然とした酒場を人が好むようなものではないだろうか。しかし今, 折尾が着実に自己主張し始めている。その事が今回の取材で感じとる事ができた。現時点においては, まだまだ色だの主張だのといえる段階ではない。しかし, 折尾特有の色を持つと動きは始めている事は間違いなく言える事だ。カーター元大統領は言った「行動する者は必ずミスを犯す, しかしそれすらも成功へのステップなのだ」と, 今後学園都市折尾は, 発展の過程において何度も障害につきあたるだろう。しかし私はこの折尾が個性的な学園都市, 個性的な若者の町に発展する事を信じて止まない。

最後に, この取材に協力していただいた折尾駅駅長さん, 不動産コンサルタント巨産の社長さん, 本当にお世話になりました。ありがとうございました。



学園都市シンポジウム 「学園都市折尾のまちを考える」 を終わって

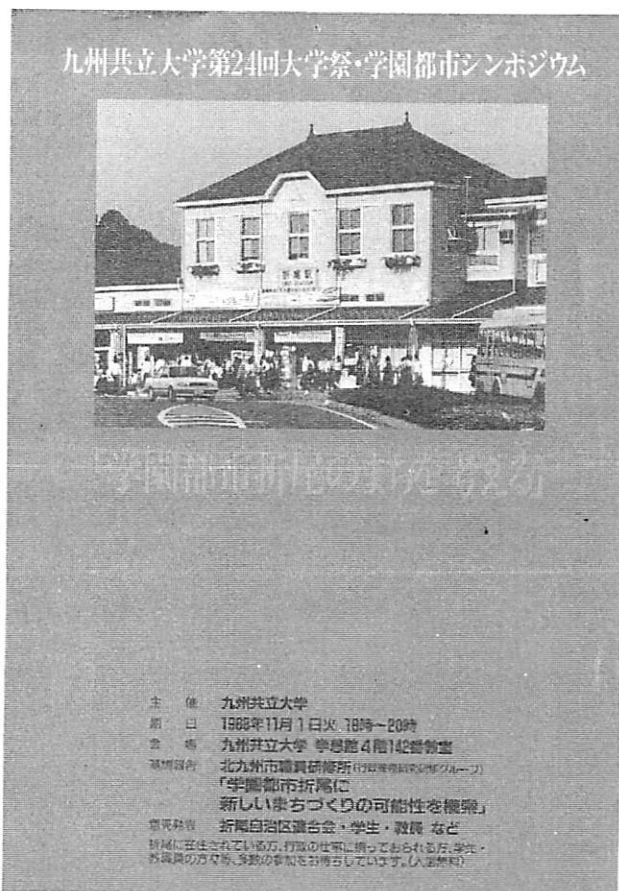
企画者 建築学科教授 竹下 秀俊



私達の住まい、職場、学園のあるこの折尾の町は、現在“学園都市”として新たな発展を遂げようとしています。この町に住む人にとっても、学生にとっても住みよい“まちづくり”を進めて行く為に、各界各層の方々に集まっていただき、大いに意見を交換し、共通の課題と方向を採る場として今回のシンポジウムは企画、実行された。また、本学始って以来の試みとしても注目された。

本学大学祭の企画の1つとして11月1日の夕方6時から約2時間「学園都市折尾のまちを考える」というテーマでシンポジウムが行なわれた。本学の大学祭でこのような企画を行うのは初めてであるだけでなく、北九州市においても住民と学生がこのようなテーマで同じテーブルに付き討論するのは初めてとあって、事前に新聞にも紹介され、又当日にはNHK-TV局などが取材に来るなど、学内外にかなりの期待と関心がもたれる中で、約350名の参加者（このうち学外者は約90名）を得て開催された。

先ず主催者を代表して手島学長のあいさつの後、北九州市職員研修所の行政課題研究グループのメンバーである田中俊治氏（折尾在住）が「学園都市折尾に新しいまちづくりの可能性を模索」というテーマで基調報告を行った。その内容は、このグループが昨年度、折尾の住民や学生を対象に行ったアンケート調査や、住民代表と学生代表などを交えて行なわれた座談会の結果の紹介と、学園都市折尾のまちづくりについての問題提起であった。田中氏はこの中で「住民は学生を一方向的に批判するのではなく、協同でまちづくりを行っていく仲間として暖かく接してほしい。学生は地域の学術文化を振興させる担い手の一員としての自覚をもって地域の行事にも積極的に参加してほしい。6,000人の学生の生活する折尾のまちづくりの可能性は十分にある。」と話された。



▲シンポジウムポスター

続いてパネルディスカッションが行なわれた。コーディネーターは粕屋保健所長の園田真人氏、パネラーは折尾自治区連合会長の大伏創八郎氏、北九州市ミズ21委員会の沼尻協子女史、産業医科大学学生会長の宮本俊明と共立大総務委員長の斉藤敦の4名である。

宮本氏は学生の立場から「短いサイクルで変っていく学生が地域にいかに関与できるのか？文化の担い手であり、学問追求を通して役立てると思うが、この町には残念ながら文化施設が何もない。交流の場としての施設が必要である。」と発言された。

沼尻氏は主婦としての立場から「折尾にたくさん住んでいる学生の活力が生かされていない。地域住民が若者を育てる気持ちが欲しい。大学の図書館も開放してほしい。」と述べられた。

斉藤は「車公害の問題を一方的に学生の責任にするのはおかしい。北九州住民の運転マナーは非常に悪い。」と、学生に対する批判に反論された。

大伏氏は「折尾のまちづくりを進めていくのは地元住民と大学である。学生公害については、学生よりもむしろアパート、マンション経営者に問題がありはしないかと思う。大学側も公開講座を始めとしてもっと地域に対して門戸を開いていただきたい。」と述べられた。

続いて、会場参加者を交えての討論に移った。会場からの発言は、折尾商連専務理事の滝瀬氏、JR折尾駅長の森山氏、折尾二三会長の二神氏、ジャーナル洞南編集長の白石氏等、合計9名の方々だった。これらの方々の意見では「住民と学生とのコミュニケーションがこれまで著しく不足していたが、これからまちづくりを進めていく為には先ず相互の理解を深めることが極めて大切である」「特に地元の若い世代の人々の活発な発言と行動を皆で育てていかねばならない。」「大学の施設の開放や、大学祭と地元のお祭の共催、公開講座の開催等を通して、大学と地域の結びつきを強めていくべきである。」等が強調された。

シンポジウムの最後に八幡西区長の田原氏が「このシンポジウムを機会に地元折尾と大学が一致協力して真の学園都市づくりの為に頑張ってもらいたい。行政としても出来る限りのことはやっていきたい。本日のシンポジウムをもって学園都市元年と考えていきたい。」とあいさつされた。

シンポジウムが終了してから、コーディネーターやパネラーと準備作業に参加した本学及び折尾女子経済短大の学生を囲んで反省会を行った。学生諸君は「こんなにたくさんの方が集まるとは思わなかった。話の内容もとても勉強になって良かった」と感想を述べ、行政課題研究グループのメンバーからは「私達が昨年度取り上げた研究テーマがこのような形で実を結ぶとは思っていただけにとってもうれしい。」「これを続けていくことがとても大切な事で、次に何かできるかで今回のシンポジウムの評価も決ってくると思う。」という発言があった。

そして、お互いに今回の企画が成功したことを確認して、夜のネオン街へと足取りも軽く出発した。

この企画を6月の大学祭準備委員会に提案してから4ヶ月、特に9月、10月の準備期間はとても大変だった。各大学や地元団体へのあいさつ廻りと参加要請、基調報告者やコーディネーター、パネラーとの打ち合わせ、ポスター、チラシの作製と配布等々、どれもが初めての経験で、会う人も殆んどが初対面の方々だった。しかし、皆さん大変好意的、協力的で、まちづくりについての関心も強かった。そして建築学科の数十名の学生にも看板作りやビラの配布、会場設営、受付などと大いに頑張ってもらった。

視界ゼロの中で出発したこのシンポジウムも、このように多くの方々の協力を得て無事終ることができ、又、大学祭の盛り上りにも貢献できて、今は感謝の気持ちで一杯である。学園都市折尾のまちづくりと本学の発展の為に私達に何かできるのか、又明日からじっくり考えていこう。

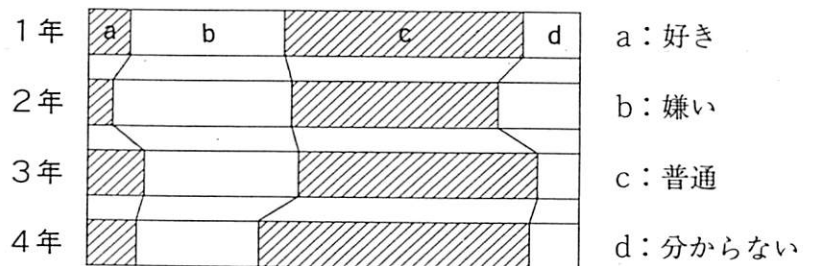
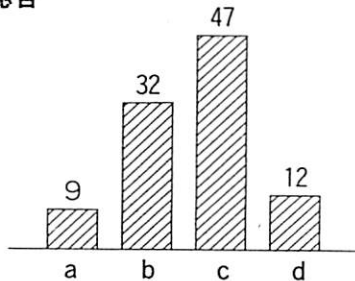


▲ディスカッション風景

問 1

あなたは、この折尾が好きですか。

総合



普通と嫌いで80%もいると、これはもう折尾は学生に嫌われた町と言っていいでしょう。この町も学生がこれだけいるのだから、もっと学生好みの町並みになってもいいのでは？ と絶望の中に望みを託す!!

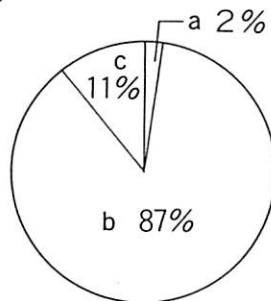
この折尾には、映画館もディスコも無い。他の都道府県から来た人間にはもの足りない。この土地に住んでいる地元人には、東京・大阪等の大都市に行きたいという願望が渦巻いている、とまあそんな所でしょうか。

折尾で活気があるのは駅の周辺と土曜・日曜のサンリブ、そして朝夕の学園大通りだけである。学校の前の道路工事が完成すれば、少しは違ってくることを期待しましょう。

問 2

あなたは、一生折尾に住みたいですか。

総合

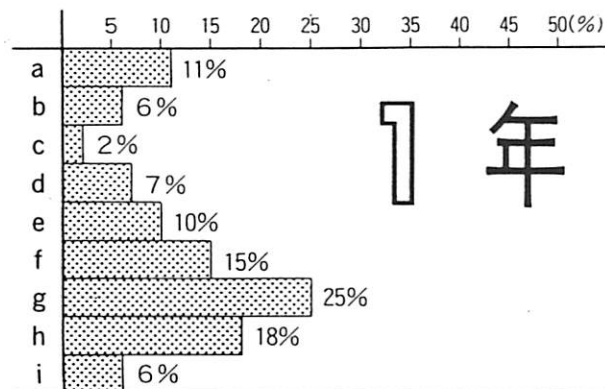


	1年	2年	3年	4年
a: はい	0%	1%	4%	3%
b: いいえ	92%	93%	85%	79%
c: 分からない	8%	7%	11%	8%

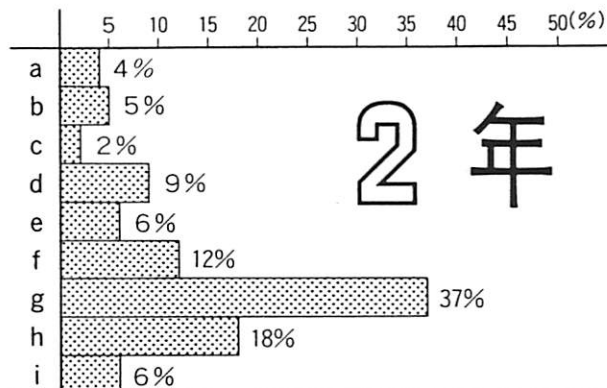
嫌いな町に一生住みたいという人が多い訳が無いですが、一生住みたくないという人が9割というのにもかなりすごいものがあります。一年生で住みたい人が0%というのは、来てかなりの衝撃を受けたんでしょうね。

まず最初に一生住みたいという土地は、どこに行っても見つけることは出来ないのではないだろうか。しかし「住めば都」と言われるくらいだから、住む年数が増えるだけ拒絶する数が減ってもいいのではなかろうか。

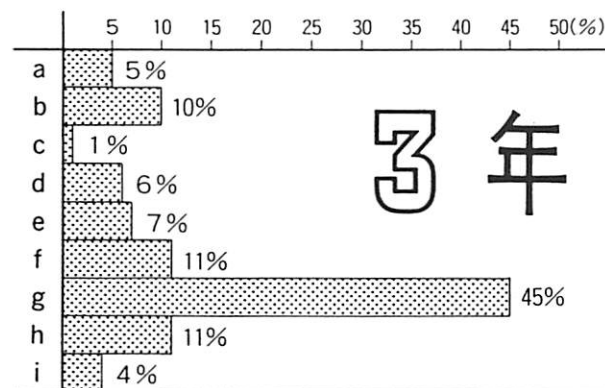
何も言うことはございません。数値が全てを語っているようです。ちなみに私は住みたくありません。……………
……以下 沈黙……………



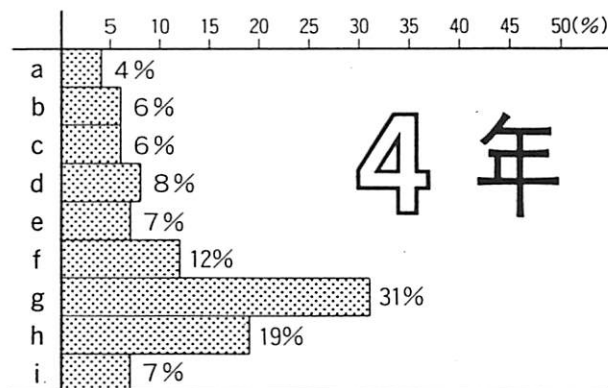
1年



2年



3年



4年

黒崎などの商業地と違って折尾は住宅地だから活気がないのもうなずけるが、これだけ学生がいてという気がする。女子学生には期待しないようにしましょう！

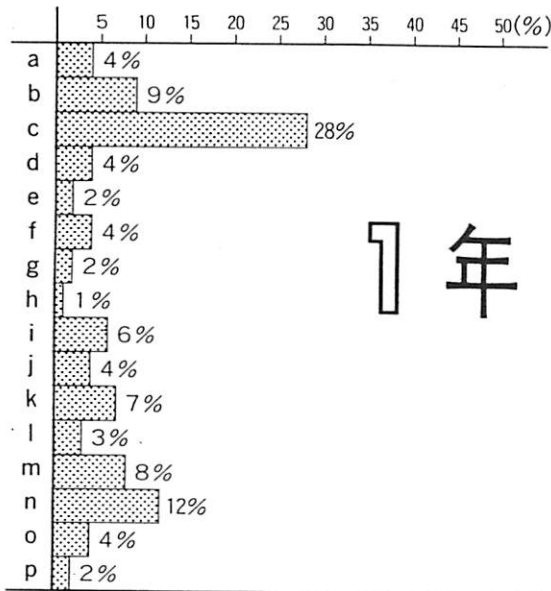
予想通り灰色が一番でした。現在折尾も活性化をはかっているようなので、数年後には少しは期待してもいいのでは？ ちなみに九女や西高の制服を想像してか、紺と言うのもいえてて妙であります。

灰色は、イメージとしては絶望、束縛、身体的には活力を奪い無気力にさせる色です。この色が町のイメージとすると日頃よほど疲れきった生活をしているんでしょうか？ もっとも大学構内の女子学生の少なさにこの色を選んだ人も多かったのでしょうか。

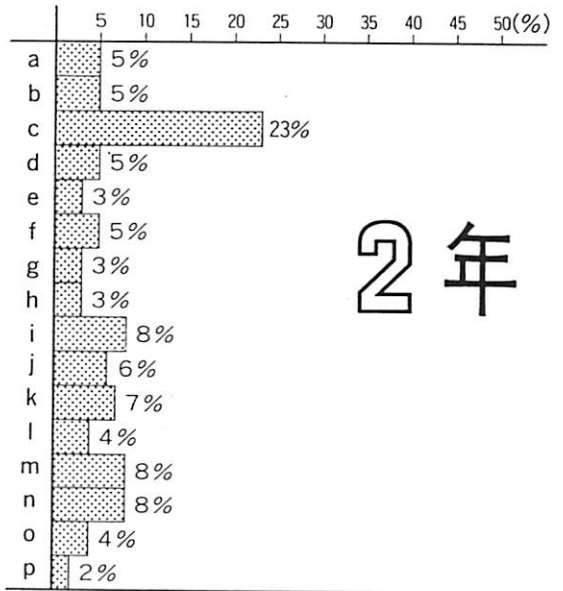
問 3

あなたは折尾を色にたとえて何色と思いますか？

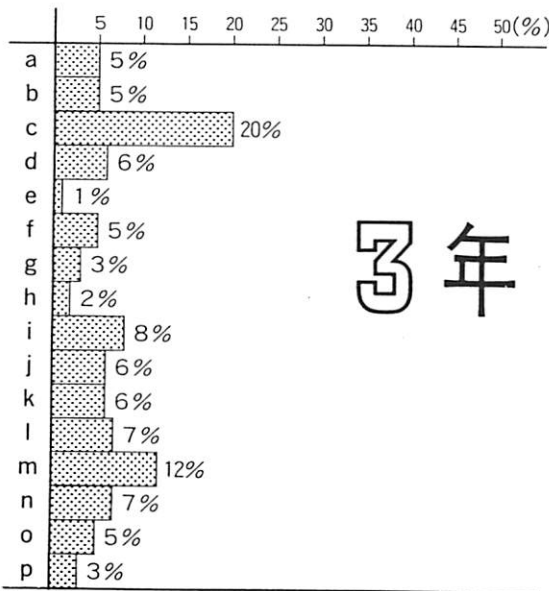
- a. 白 b. 黒 c. 赤 d. 黄 e. 青 f. 緑 g. 灰色 h. 茶色 i. 紫



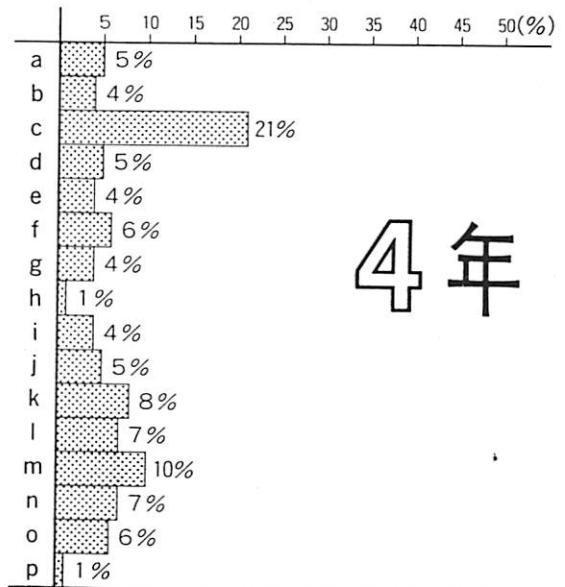
1年



2年



3年



4年

これだけ男子学生が集まると、危い発言もちらほらどころか、たくさん集まりました。そこで、私は、それを発散させる運動施設などがそろって健全な共立大生ができるのではないかと思ってもないことを言ったりして。

映画館、図書館といった文化施設やスケート場やプールなどのスポーツ施設があってもいいのではないだろうか、コンビニで立ち読みすることしかできないのは、すごくさびしいような気がするんですがね。

僕も折尾に欲しいものという映画館をまっ先にあげます。何といっても映画を見るのに一駅も電車に乗らなくては見れない。この大儀さがとてつもなくいやです。あと公共の大きな図書館が欲しい、もっと蔵書のしっかりそろって、新刊書も多く入る所が……。

問 4

あなたは、今、折尾の町に何が欲しいですか？（3つまで選択）

- a. テニス場 b. 服屋 c. 映画館 d. プール e. 美術館 f. 図書館 g. 水族館 h. 植物園 i. 遊園地
j. 動物園 k. スケート場 l. 公園 m. ディスコ n. デパート o. アスレチック・クラブ p. ゴルフ練習場

問 5

共立大に来て良かった事は？

BEST 10

- | | |
|-----|-------------|
| 第1位 | 友人が出来た |
| 2位 | 環境が良い |
| 3位 | 1人住まいが出来た |
| 4位 | 女子大生が多い |
| 5位 | 海が近い |
| 6位 | のんびりできる |
| 7位 | いろんな事に熱中できる |
| 8位 | 良い先輩に知り会えた |
| 9位 | 視野が広がったこと |
| 10位 | 良い先生方に知り会えた |

友達が増えたという極めて普通の解答が多かった。あとは、大学生らしい一人住まいが出来るという答や、となりに女子大があると
いう答が少数ずつあったのみだった。割と平凡な学生が多い学校だ
ったんですね。

あまり積極的な意見がなかったようだ。共立大学に来てよかった
事と、親元を離れて一人ぐらしができたことや友人ができたことは
直接関係のないことであって、どこの大学へ行っても言えること
ではないでしょうか。

おもしろい意見として、のんびりできる。楽ができる。授業で寝
られる。などがなかなか味のあるものとして見うけられた。でも、
きわめつけは、「人間の本性を見た!!」というのは爆笑ものでした。

問 6 あなたの推薦するところ あれこれ

A群 飲み屋	a ルーセル	94名	b かつぺ	78名
	d おりお村	39名	e 純	62名
	f 一休	53名		

予想より飲み屋を利用する人が少なく、実に共立大生はまじめな人が多いとみうけられるが、ほんとうかな？

折尾で飲む人はあまりいないのではないのでしょうか。黒崎などで、飲みあかしたなどよく耳にしますから。

私が考えるに、共立生は自分の部屋でストーブを前にするめをかじりながら一升瓶をかかえている人が多いのでは。

B群 お食事処	a 王将	275名	b エトセトラ	27名
	c おばちゃん	90名	e さかえ屋	30名
	f のり平ちゃんぽん	38名		

「王将」の人気はたいしたものですね。私もよくここを利用します。ここなら僕も自信をもってすすめられます。

いがいに「おばちゃん」の定食はねらい目かもしれませんね。あそこは安くて多いので、私もよく利用します。

一番人気はあるものの、これは個人的なこのみがあるのでは、これから探すのも、また一考ものかと。

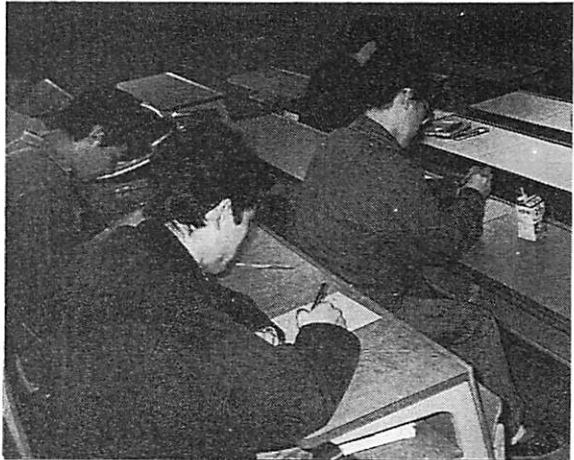
C群 娯楽	a サンリブ	193名	b ムーンリバー	29名
	c メディア9	27名	d スターレーン	89名
	e フレンド「パチンコ」	113名		

「サンリブ」というのは一体何々でしょう。まるで、子供連れの主婦の答えとしか言いようがないですね。

折尾にははっきり言って娯楽施設がないですよ。実は共立大生の最大の娯楽は自分の部屋のファミコンだったりして。

「今、セブン明治が出ているぞ」とか言う話を学校でよく聞く。やっぱり共立大学の娯楽はパチンコじゃないだろうか。

D群 あなたがおすすめするところ その他

<p>● お食事処 and restraunt and 喫茶</p> <p>折尾一番 お好み焼「はる」</p> <p>三国屋 黒崎一番</p> <p>助さん 江崎屋</p> <p>ラーメン「レオ」 春風亭</p> <p>中華小屋 博多っ子</p> <p>朝食屋 田舎の日曜日</p> <p>イエローパンプキン トランドール</p> <p>メイ・ラン・ファン あっけら館</p> <p>なには リンガーハット</p> <p>金のフライパン ステーキは肉の岡田</p> <p>天山 ハーフタイム</p>	<p>● 娯楽 その他</p> <p>レンタルビデオ「ワールド」</p> <p>Le Culub ニッタン</p> <p>ルックメイト Big Box</p> <p>● パチンコ</p> <p>セブン明治 21世紀</p> <p>パレス ラッキーパレス</p> <p>ラッキードラゴン 駅前パチンコ</p> <p>など など</p>
<p>● 飲み屋</p> <p>奇聞屋 スナック大ちゃん</p> <p>焼鳥三丁目 みや</p> <p>時代屋 あや</p> <p>ハーフタイム いろは</p> <p>アフロディーティ イング PartII</p>	

居酒屋では焼鳥屋などのように安く飲める所が多く、お食事処は折尾駅周辺か、学園大通りに沿った所が多く、あまり遠くへは行ってないようだ。その他はサンリブ・ニッタン等の買い物処とは、下宿人はつらいです。

何か、パチンコ屋が多い気がする。やはり全体でパチンコを娯楽としている人というのはかなりの数にのぼるのではないのでしょうか。

パチンコ屋しか行くところがないのは少しさびしいような気がする。が他に行くところがないのだからどーしょもないな～。

おもしろいものに、よく出るパチンコ屋の台や、おいしい弁当屋のメニューなどがあった、これは個人的に、つかわせていただきます。

学生現住所調査

工学部

1位 大浦 201人

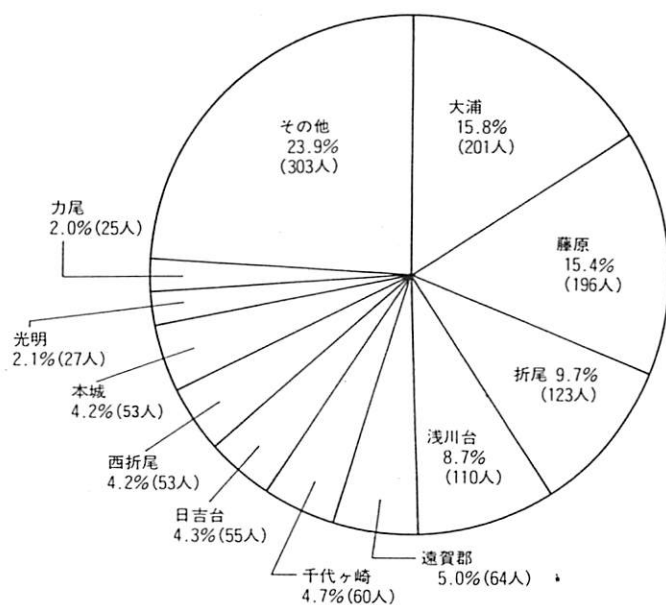
2位 藤原 196人

3位 折尾 123人

4位 浅川台 110人

5位 遠賀郡 64人

(全工学部学生総数 1,270人)



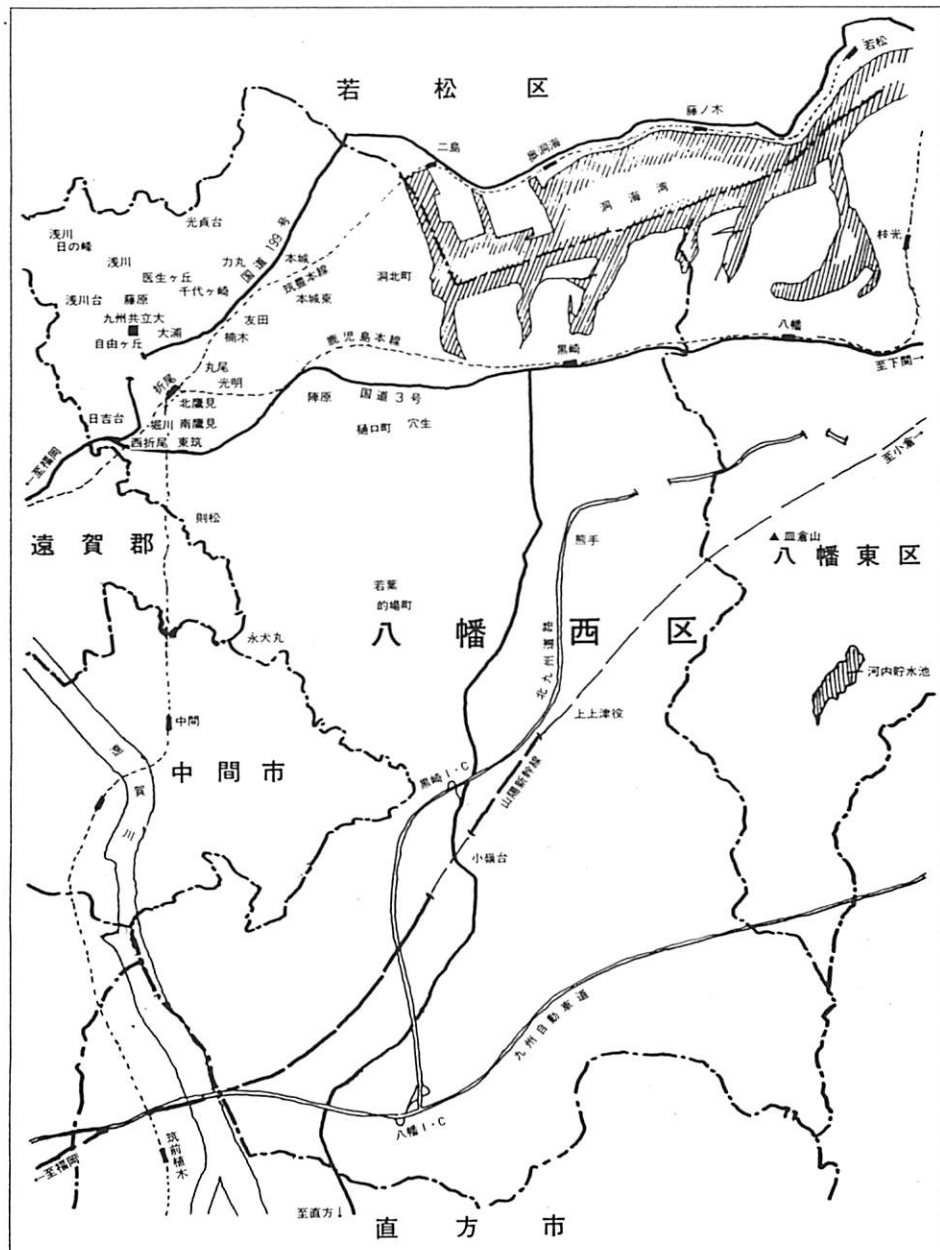
●その他の地区内訳

(八幡西区内)

東筑 医生ヶ丘 力丸 北鷹見 堀川 南鷹見 則松 浅川日の峯 友田 楠木 本城東 能西 光貞
台 浅川 若葉 浅川本村 陣ノ原 貴船台 上上津役 大平台 樋口町 筒井町 陣山 東曲里 清
納 管原 茶屋の原 穴生 中須 東折尾 小嶺台 日吉 青山 的場町 檉頼 大膳 竹末 本城東
楠木台

(八幡西区外)

若松区 小倉北区 八幡東区 門司区 小倉南区 宗像郡 中間市 直方市 飯塚市 嘉穂郡 鞍手郡
下関市 田川郡 戸畑区 小郡市 粕屋郡 福岡市 太宰府市 春日市 行橋市 筑紫野市 糸島郡
山田市 朝倉郡 佐賀県



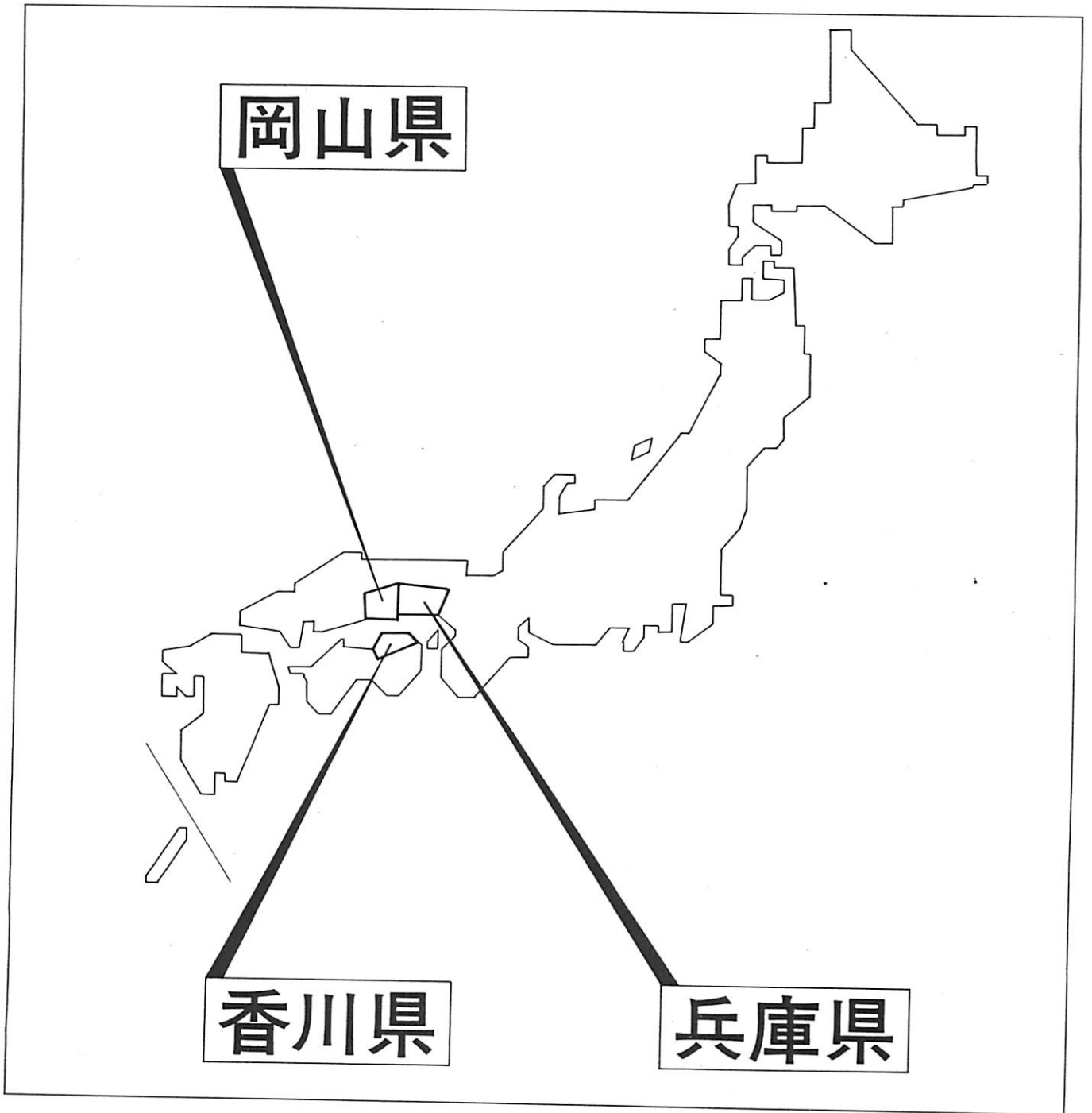
今回は定着してきているものを少しでも変えようということで、「出身地調査」を取りやめ、「いま」ということに視点
を置き、「現住所調査」を行ってみた。

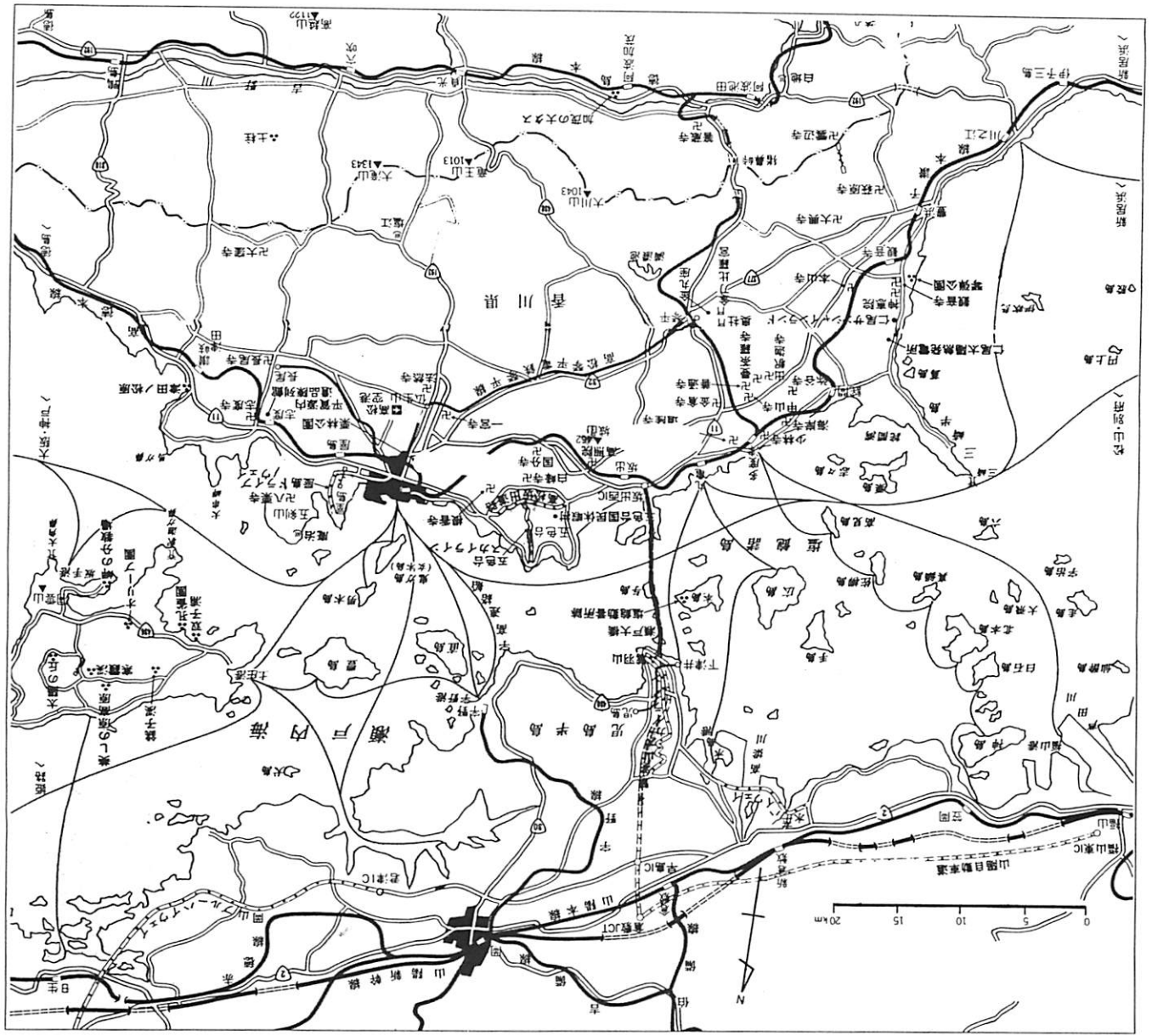
学生は現在何処に住んでいるかということ調べてみたわけですが、やはり八幡西区内が多く特に学校周辺に集中して
いた。これは学校に近いということもありますが、学校周辺には学生寮、学生アパート、下宿等が多く、しかも家賃も安
いということが理由にあげられるでしょう。

寮に入った人たちは大半が1～2年で退寮し、アパート等に移りますが、この傾向は始めからアパートに住んでいる人
にもあり、より良いところを求めて友人の口込みや自分の足で見つける様です。

またこの調査で、小都市（福岡県）や朝倉郡（福岡県）、佐賀県から通学している人がいるということもわかりました。

郷 土 紹 介



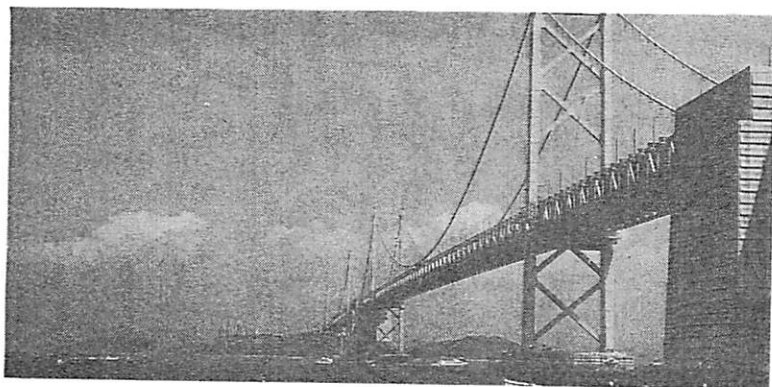


郷土紹介 香川編

四国の中では、古くから全国にも知られ一番メジャーな県は、本州に近い香川県でしょう。その香川に、また一つ有名な物が出来ました。「瀬戸大橋」です。大橋を真近に見ようと思えば一番近いJR宇多津駅で車を下りて、橋の近くで開催されている瀬戸大橋博くS63年3月20日～8月31日へ行く直行バスに乗ってしばらくすると、橋が見えてきます。

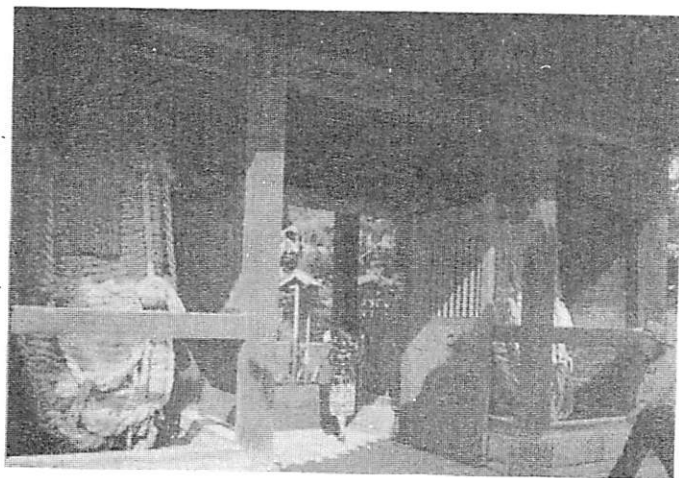
瀬戸大橋は、上が車道、下が鉄道の2階建て、吊り橋が3つ、斜張橋が2つ、それにトラス橋1つに、4つの高架橋で、橋梁部延長13.1km、道路と鉄道の併用橋としては世界一の規模を誇っている。

博覧会々場では、世界中の橋の歴史や四国出身の有名な人物などを紹介したパビリオンなどが有り、楽しい1日を過ごせます。また会場内から見上げる大橋は、大きく、立派な物ですが汽車の走行時の騒音が問題にもなっています。



つぎに、「お大師さん」の名で古くから親しまれている、

真言宗普通寺派の総本山である普通寺に行きました。

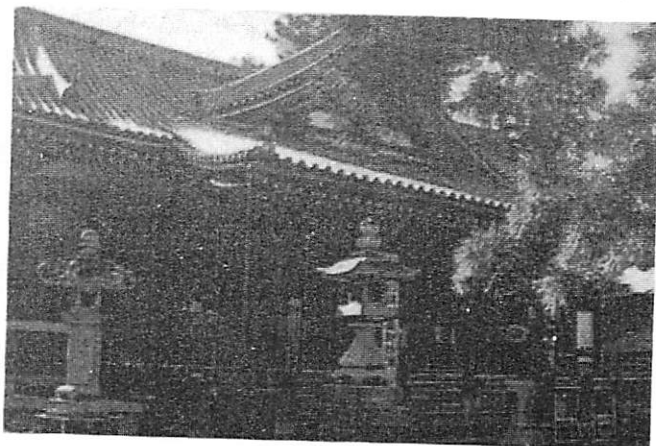


約100mほどの、みやげ物店の立ち並ぶ道を抜けて、中門を潜り抜けた所が、誕生院とも呼ばれる西院で、院内には大師の母の筆と伝えられている法華経序品など約150点にも及ぶ、寺宝を納めた宝物館が有り、諸堂は、礼堂、中殿、奥殿などからなる御影堂を中心に配されている。また、御影堂の地下には、約100mほどの暗闇を手さぐりで進む戒壇めぐりがある。

そして寺の回りには、四国霊場である、曼荼羅寺(72)、出釈迦寺(73)、甲山寺(74)、金倉寺(76)、道隆寺(77)など諸寺が点在しています。普通寺には、明治31年(1898)に陸軍第十一師団が置かれ戦後は、陸上自衛隊の町としても知られています。



他に、海上から橋を眺めたい人には、坂出からなら日新海運〔TEL 0877 (45) 5773〕のN I S S I N 27、千当海運〔0877 (46) 3479〕のセントウラインピーナス号などの快適なクルージング船が就航しています。どちらも1,500円で、70～80分の船旅が楽しめます。



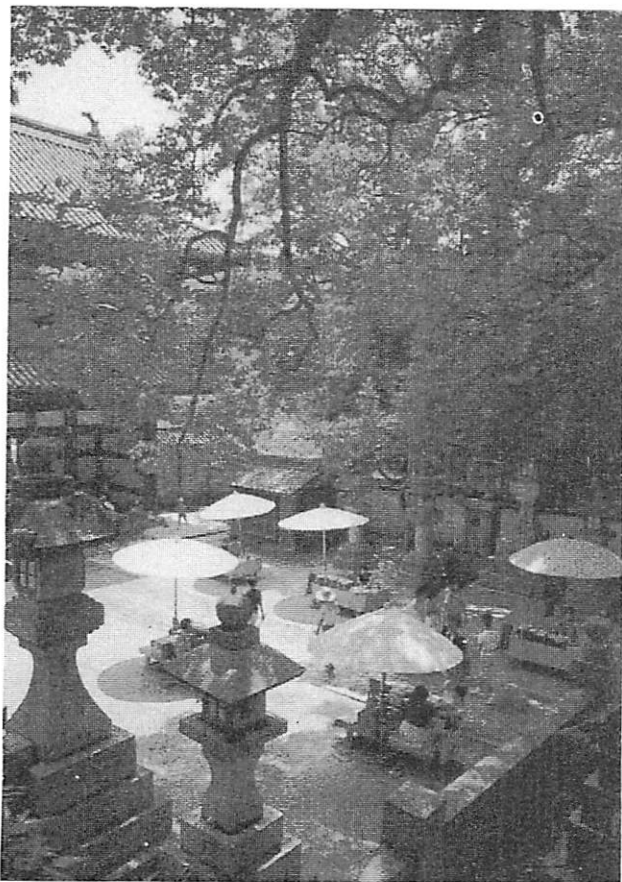
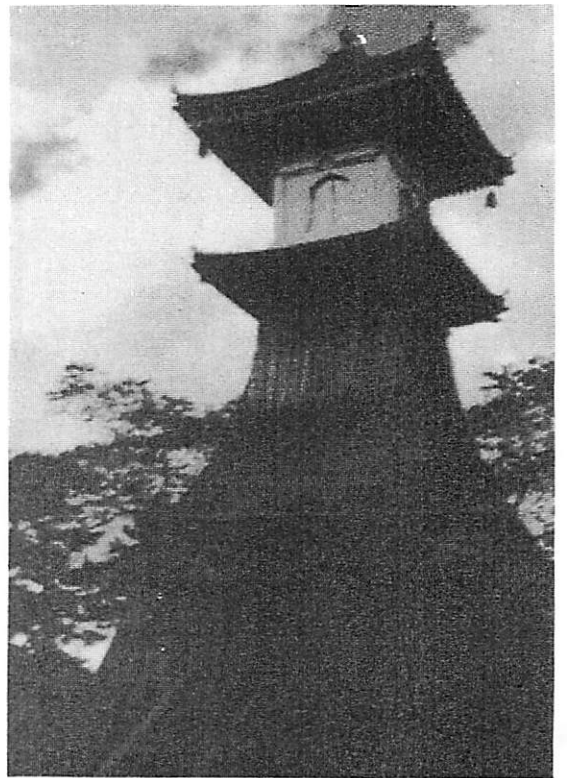
善通寺を後にして隣り駅のJR琴平駅で汽車を下りると、そこは「讃岐のこんぴらさん」の名で親しまれる金刀比羅宮があります。

駅をすぐ出たところに、金刀比羅参りの人達を迎えるように高灯籠が立っています。高さ27.6m、2層瓦葺きの大灯籠で慶応元年(1865)に完成し、灯籠としては日本で、光が丸亀沖の船上からもよく見えるように設計されたと伝えられている。

駅を徒歩10分ほどで、金刀比羅宮につきます。大物主命・崇徳天皇（おほものぬしのみこと）を祭り、航海の守護神として人々の尊崇を集めてきました。

参道入口から30分のところに本宮があり、社殿前の張り出した展望台からは、讃岐平野が一望できます。本宮から徒歩で30分ほどで奥社(巖魂神社)につきます。583段の石段を登りつめた社は朱塗の社殿が鮮やかなものです。その他に、旭社、書院、そして重要文化財の十一面観音や「なよ竹物語」絵巻などを蔵めた宝物館<入館料200円>がある。

参道の石段の総数は1,368段あり、歩いて参拝するのが辛い方には、駕籠屋<往復5,000円、片道4,000円>があります。参拝は本宮だけでも往復2時間ほどかかり、書院、宝物館などを廻ると約半日、奥社、鞆橋、金丸座まで足をのばせば、丸1日かかる。帰りは、深い木立の中をゆるやかな通りがつつく裏参道を歩くのをお勧めします。



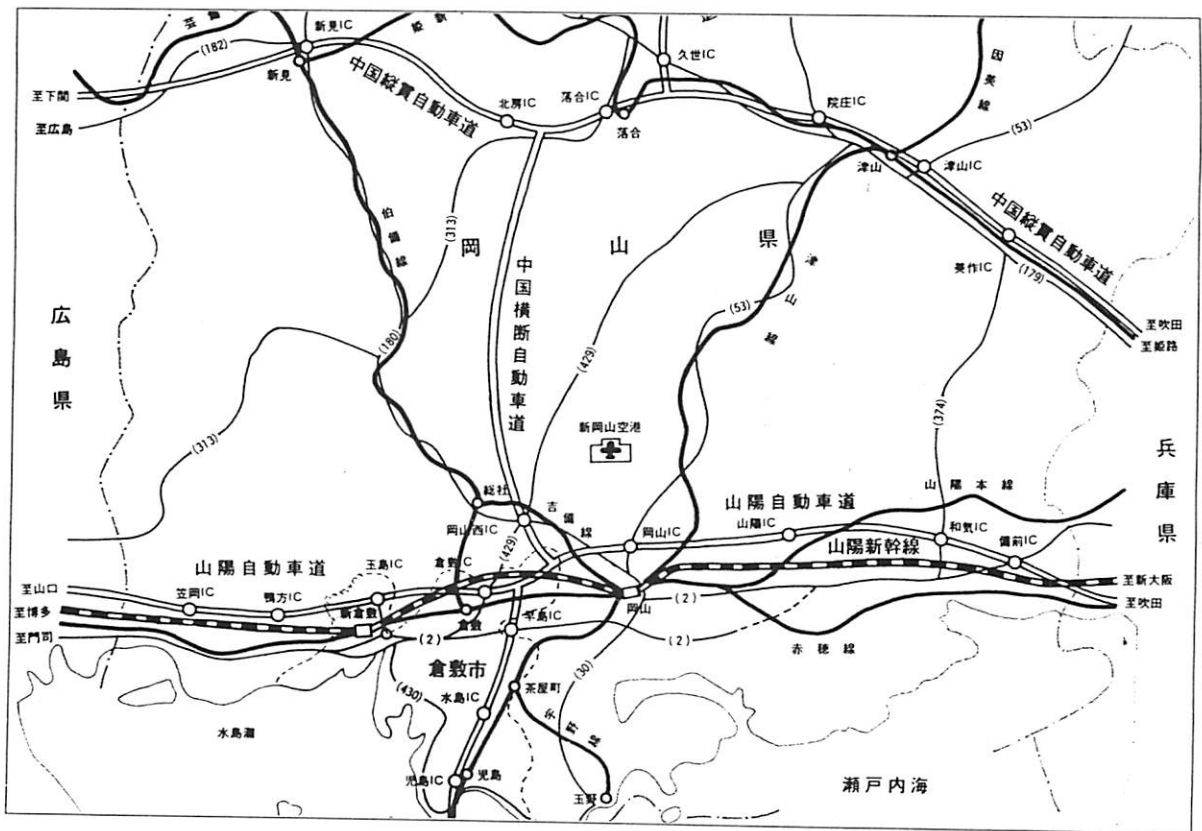
もう一つ弘法大師に関係するものに満濃池があります。

JR琴平駅から土讃本線で塩入駅へ行き、下車後徒歩20分ほどで満濃池につく。灌漑用溜池の貯水量は日本一を誇るもので、水深30m、貯水量1,540m³の水を湛えて丸亀平野一円をうるおしている。池の東側の土手上には、散歩道もあり散策するのも良いでしょう。

その他に、浦島太郎伝説を随所に残した三崎(庄内)半島、「寛永通宝」と書かれた巨大な銭形は、戦争中アメリカの偵察機が見て日本の秘密基地と思ったそうです。etc多くの観光地が点在する香川に一度は寄ってみてください。なお、香川県に来られる方は「讃岐うどん」を食べ忘れないよう注意してください。

郷土紹介

岡山編



岡山と聞いて、まず思い浮かぶのは、白壁の町並を今も溜め女性に人気のある町、倉敷だろう。この白壁は幕府の直轄地“天領”として倉敷が栄えた事を物語っている。

倉敷駅から駅前通りの南に200m程行くと、倉敷河畔を中心として柳の緑と蔵屋敷の白壁が美しく伝統的な日本の美の情景を漂わせている町並を見る事が出来る。倉敷中央通りから美観地区に向かって行くと、まず世界的な名画を一堂に集めた大原美術館があり、これは必見である事間違い無しだ。〈尚月曜日は休館となっています。〉



さて、倉敷川に沿って歩いて行くと、倉敷美術館、倉敷館、倉敷民芸館、日本玩具館、倉敷考古館など日本の文化を十二分に味わう事が出来る多くの会館がある。又、最近ではアイビスクエアと言うホテルを中心に昔ながらの町並の中にNOWな感じを漂わせ、ヤングの人気を集めている。

倉敷を後にし、目を岡山市に移してみる事にしよう。岡山駅から駅前の“桃太郎大通り”を真っすぐ東に1km程行くと、その姿が黒い事から別名“烏城”とも呼

ばれ、重厚な趣を見せている岡山城がある。

岡山城は、天正元年（1573年）、宇喜多直家が入城した後、その子秀家が慶長2年（1597年）に現在の様な三層六重の城の原型を整えたといわれる。以来、様々な城主を経て、寛永9年（1632年）鳥取から池田光政公が31万5,000石を所領として入城し、その後、池田家は明治維新まで続いたという事である。〈開館時間は9：00～17：00〉

岡山城のすぐ北には、日本三名園の1つに数えられている後樂園がある。後樂園は貞享3年（1686年）、当時の藩主池田綱政公の発案で、家臣津田永忠の指揮により、14年の歳月をかけて元禄13年（1700年）に完成。様式は遠州流回遊式の庭園であり、東に遠く望む備前富士と操山や岡山城を背景に雄大な庭をつくり出している。

その他、岡山市には半田山植物園、池田動物園、RSKバラ園など数々の見所があり、こちらにも足を運んでいただきたい。

この様に、岡山は旧所、名跡が多い事で知られているがことに、岡山が今最も注目を浴びている物に瀬戸大橋がある。これは約9年を費して昨年4月10日に架橋。最新の科学技術の粋を集め、高速道路と鉄道の併用橋として世界一のスケールをもつもので、我々工学部の学生にとっては実に興味深い事ではないだろうか。そこで、この瀬戸大橋を皆さんに知ってもらう為にも、ここで詳しく紹介する事にしたいと思う。

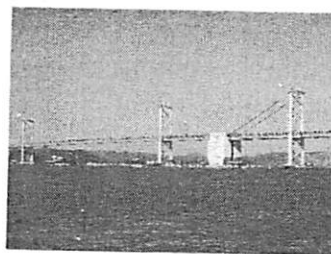




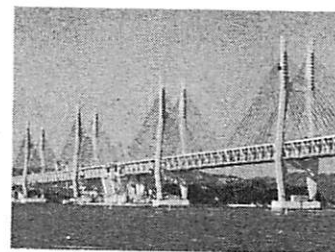
瀬戸大橋は秒速60~70メートルの風に対し、静・動力学的にも十分安全であり、M8~8.5の地震に耐えられるように設計されている。

この橋の起終点、及び延長は、瀬戸中央自動車道では岡山県早島インターチェンジ（国道2号線）を起点とし香川県坂出インターチェンジ（国道11号バイパス）に至る37.3km。又、鉄道においては岡山県茶屋町駅から香川県宇多津駅までの瀬戸大橋線32.4kmであり、これらのうち13.1kmが道路と鉄道の共用部になっており本州と四国が結ばれているわけである。

これらの交通機関は、6つの橋の上に成り立っているが、それぞれの橋が次の3つの形態をとっている。
 櫃石島橋：岩黒島橋は斜面橋：与島橋は
 トラス橋：下津井瀬戸大橋、南・北備讃
 瀬戸大橋はつり橋。この様に各々が世界的にも有数の長大橋であり、又、美しいものである。そこから見る景色には格別なものがある。

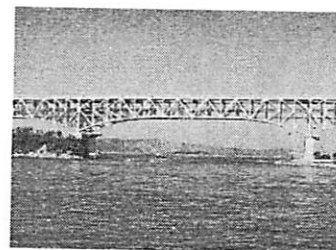


南備讃瀬戸大橋



岩黒島橋

橋に至っては以上であるが、この他、
 S63. 3. 20~8. 31まで催された“瀬戸大橋博 '88. 岡山”では各種イベントが催され、多くの人々の注目を浴びた。みなさんの中にもこの博覧会に来られた方がいるのではないだろうか。1日では周りきれない程の会場に、数多くのパビリオンが並び、大いに楽しみながら岡山を知る事が出来る。

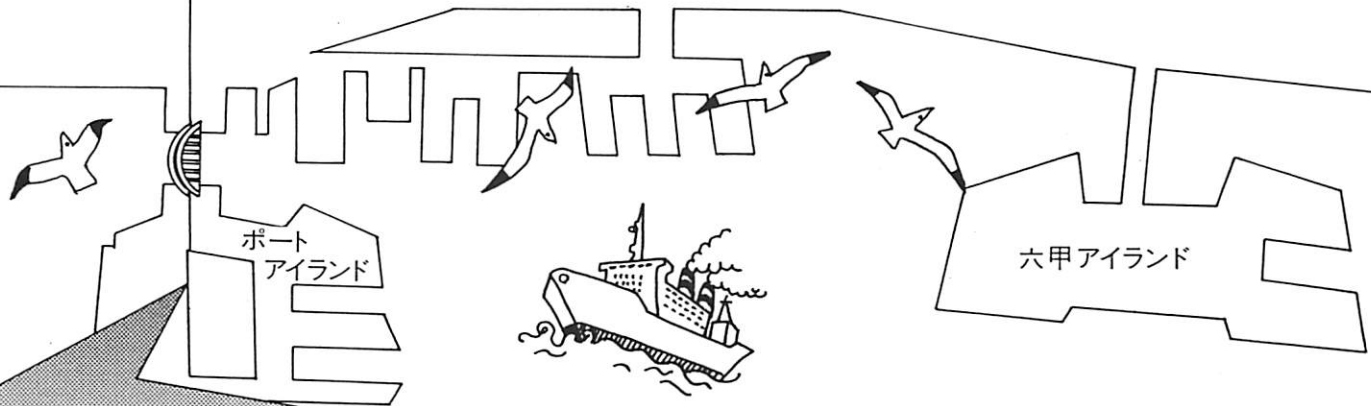
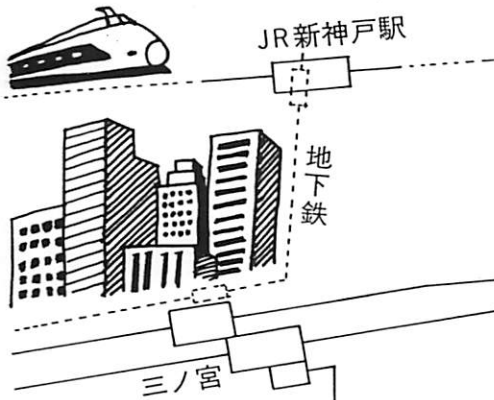


与島橋

古き良き時代を残しつつ未来へと発展をとげている岡山へ是非一度お越し下さい。

郷土紹介

神戸六甲山



コンピューター制御で走る車掌も運転手もない無人電車で、ぐるりとポートアイランドを一周して景色を楽しめます。

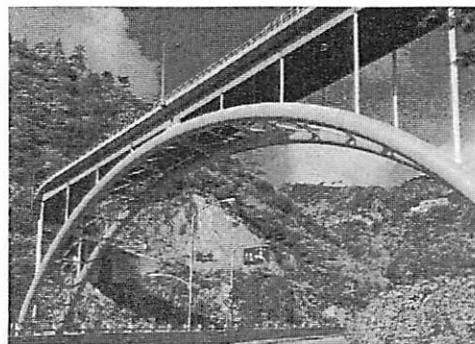
神戸は、海からすぐにせり上がった六甲山の下に東西に広がった町です。六甲山は、明治から大正にかけて外国人によって開かれたリゾート地で古くから神戸市民の人たちの憩いの場所であったとも言われています。

普通の登山ルートとしては、阪急三ノ宮駅から普通および急行の阪急梅田行きに乗って（特急だけは、乗らないで下さい）阪急六甲駅に行き、それから、その駅からでている神戸市バス16系統を利用して六甲ケーブル下駅行きのケーブルに乗り、六甲山上駅に到着する方法がよいでしょう。



ドライブを楽しむには、やはり六甲ケーブル下から葛折の急な「表六甲ドライブウェイ」を通って、六甲山頂に着くのがよいと思います。ただし、夜は暴走族がでるといわれるので、アベックドライブは、怖いですよ……。

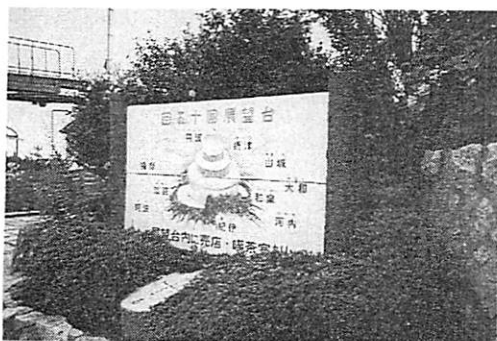
山頂付近は、あまり起伏のない道が広がっていて、歩きながらでも山の景色や神戸市街、また、はるか大阪湾や淡路島などの景色が美しく見えて楽しめます。



一般ルートとしては、ケーブルの六甲山頂駅からロープウェイを乗りついで、てんぐいわ駅を通り山頂駅に達するのが、時間の無駄がなく便利で、またロープウェイから見る景色も格別です。



この駅の近くには、300人を収容できる回転式の展望台、「十国展望台」（入場料200円1988年現在）があり、東に連なる東六甲や



南の神戸の町なみ、西の方に見える淡路島や明石につながる山々、北には、有馬温泉から三田への山なみが、

眺望できて素敵です。

ここには、小さな遊園地もありますが、六甲山頂のプレーゾーンは、なんといってもカントリーハウスと遊園地または人工スキー場でしょう。





地に池があり、ボートも楽しめますし、ミニゴルフ場でヘタなゴルフも楽しめます。また、ちょっとシャレたコーヒーハウスやレストランもあり、寛ぐこともでき1日中遊べます。



六甲山頂は、サンセットドライブウェイやサンライズドライブウェイなどがあって、車が歩道の横を走り抜けるので、遊歩道を散策する方が山の気分に浸れます。

リッチな人は六甲山ホテルで、夏なら神戸の夜景を見ながらバイキング料理を味わうのも一興です。また、アベックでコーヒーを楽しむのもカッコイイでしょう。

これで六甲山の紹介を終わりますが、六甲山だけでなく神戸にはおもしろいところももっとあるので、ぜひこの“ミナト町神戸”に来たら六甲山以外も見てください。

それから、最後に六甲山に行く場合、なるべくアベックで行った方がいいですよ。著者は、独りでこの取材をしたので、取材中ずっとむなしい気分になってしまいました。ひとつ小言が入ってしまいました。では、楽しい六甲山の思い出を作ってください。

あなたがもし、植物学?に興味があるのならその昔、植物学者として有名な牧野富太郎博士の指導で造ったといわれる「六甲高山植物公園」(入園料400円1988年現在)に行くのがよいでしょう。

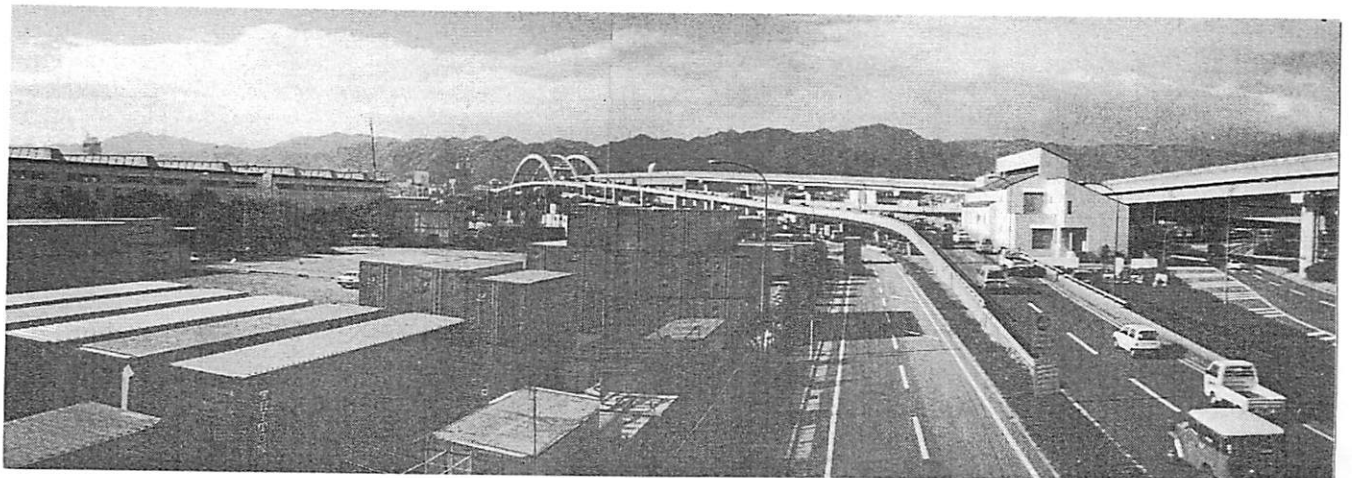
「カントリーハウス」(入場料500円1988年現在)は、20万㎡の広大な芝生の丘陵



「人工スキー場」は、少しはなれていますが、ゆるやかな長いスロープのスキー場で自信のない人でもスキーの楽しさを、味わうことができますし、貸しスキー(2,200円1988年現在)もありますので、ちょっと滑ってみませんか。

ほとんどの遊技場は、木曜が定休日なので、注意してください。

歩くことの好きな人は、ロープウェイ山頂駅から東へ歩き、六甲山最高峰(931.3m)に行くのも、おもしろいかもしれませんね。ただし電波塔ぐらいしか見ることはできませんよ。



開発学科海外研修旅行記No. 7

Study Tour in Kingdom of Thailand

1988.July

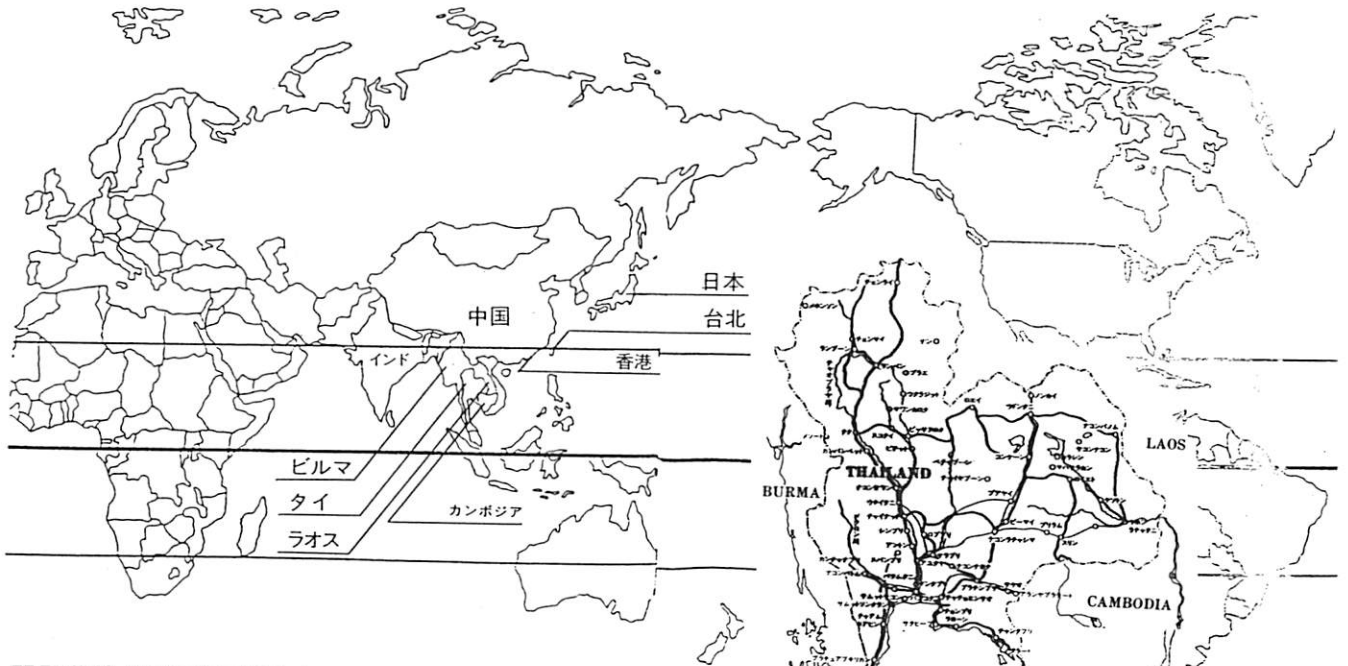


ワット・プラケオ(エメラルド寺院)

エメラルド色のひすいで作られた仏像が安置されている。タイで最も格式高い王立寺院。タイ文化の粋を集めた絢爛かつ優美な寺院。

タイ仏教の象徴的存在。

開発学科4年次生/	井原 晃明	斉藤 敦
	坂村 雄治	丸尾 浩二
開発学科3年次生/	池田 和男	大田 光晴
	大西 理裕	奥中 嘉宏
	倉永 雅文	安増 豊紀
	平川 賢一	



開発学科 海外研修旅行 (88. JULY)

月日	時刻	交通機関	日 程	宿泊地・ホテル
7/12 (火)	10:30	CX 511	福岡より空路台北へ	バンコク バンコクパレスホテル
	11:35		台北到着	
	12:20		台北より空路香港へ	
	13:50	CX 751	香港到着	
	15:20		香港より空路バンコクへ	
	16:55		バンコク到着	
7/13 (水)	9:00	バス	IECプロジェクト研修	チェンマイ ポイルーンホテル
	16:00	TH 108	バンコクより空路チェンマイへ	
	18:30 19:30		チェンマイ到着	
7/14 (木)		バス	終日 MAEKUANG プロジェクト研修	同上
7/15 (金)	9:00	バス	チェンマイ市内見学	バンコク バンコクパレスホテル
	17:00	TH 107	チェンマイより空路バンコクへ	
	18:00		バンコク到着	
7/16 (土)	8:30	バス	バンコク市内見学	同上
	18:00		タイ古典舞踊観賞	
7/17 (日)	9:15	CX 700	バンコクより空路香港へ	香港 リバーサイドプラザ ホテル
	12:50	バス	香港到着	
		バス	香港島見学	
7/18 (月)	8:30	バス	九龍半島見学	
	15:25	CX 510	香港より空路台北へ	
	16:45		台北到着	
	17:35		台北より空路福岡へ	
	20:40		福岡空路到着・解散	

我々開発学科3・4年次生は、昭和63年7月12日(火)から18日(月)までの7日間海外研修のためタイと香港を訪ずれた。ここにその一部を報告する。

なお、タイについては前回“COM, No.4”に報告しているので合わせて御覧願いたい。また 興味のある方はまだ多くの写真等があるので、学科まで訪ねられたい。

Irrigation Engineering Center

I E Cは、タイにおける灌漑排水施設の計画、設計、施工にかかわる適正技術を開発・整備し、その技術移転を図ることを目的とし、

- ①設計基準 ②水理モデル解析
- ③建設材料試験及び解析(含む土質試験及び解析)
- ④システム開発 ⑤研修

の5つの分野から成っている。

このセンターは、タイ政府の正式組織ではなく、水に関する全ての事業を統括する王室灌漑局(I R D)への日本の協力団体である。しかし同センターの所長は、I R Dの局長が兼務している。



I . E . C本部から北に17km離れたバグレットに試験場がある。ここでは、水理、材料、コンクリート、土質等の試験が、現在建設中のダムの諸問題解決のために行なわれている。



〈同センター内のシステム開発部内での研修風景〉
日本でもめったにない最新コンピュータシステムが所狭しと配置されている。

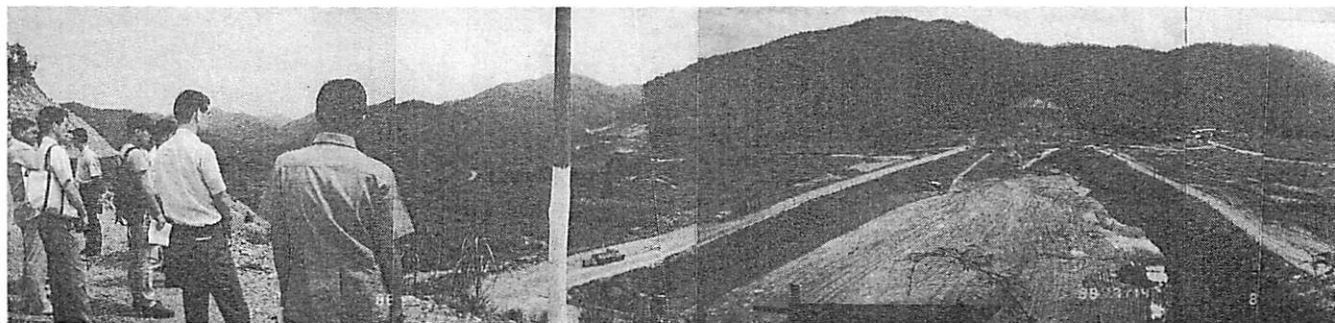


〈I . E . C本部前での記念写真〉

最前列のタイ女性は日本人エキスパートの秘書達で1人1人に配属されている。

またスタッフの大部分はタイ人であり、日本人は専門家が10数人いるだけである。

タイの明日を潤すメクワンプロジェクト



〈メクワン川に建設中のダム工事現場〉



タイ国チェンマイ地方のピン川及びメクワン川の流域は豊かな土壌を持ち、北部タイの代表的な農業地域である。

しかし乾期のかんばつと雨期の洪水のため大きな被害を繰り返し続けている。

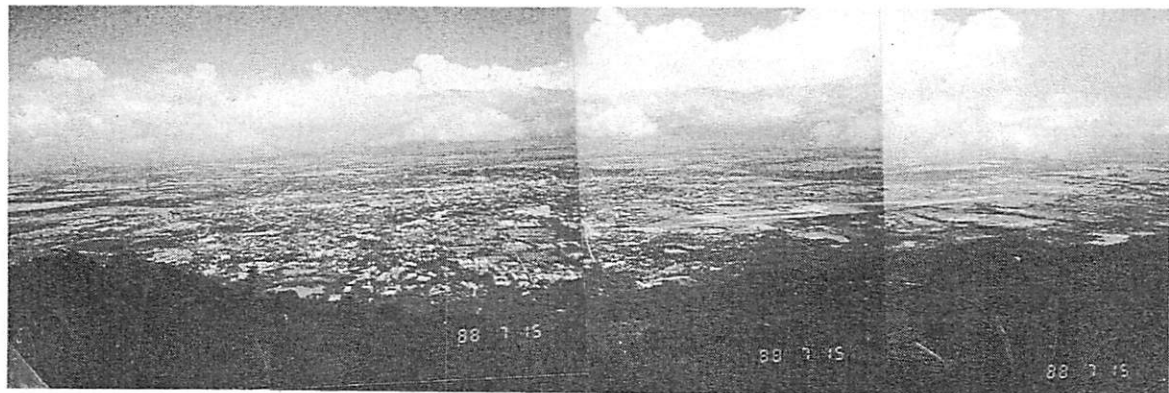
そこでメクワン川の水資源を有効に利用するためダムを建設し、合わせて農業用水路を整備し、安定した農業用水の供給を行なうことを主目的とするメクワンプロジェクトが現在進行中である。

またこのダムは、将来水力発電等多目的に利用され、チェンマイ地方総合開発プロジェクトの中核をなすものである。



〈メクワンプロジェクトエリアの配水堰〉
(堰の周囲は緑地公園となっており、憩いの場となっている。)

歴史の都 チェンマイ



ステープ山からのチェンマイ市内のながめ。



金色のチェディ

(ワット・ブランタード・ドイ・ステープ)

ワット・ブランタード・ドイ・ステープは、チェンマイの北西約17kmの標高1,767mのステープ山(チェンマイ人の聖地)の山頂にある。



*竜の石段*と呼ばれる中国産の三彩色の陶板をはめ込んだ306段の石段。

チェンマイは、バンコクの北700kmの海拔300mの高原にある、人口約120万人のタイ第2の都市である。

北方のバラと称され、周囲を600~900m級の山々に囲まれた田園風景を残す美しい町である。

13世紀頃からランナー・タイ王朝の都として繁栄した古都で、18世紀にタイと併合されるまで独自の歴史を歩んできた。また「チェンマイ美人」と言われるように美人の産地としても有名である。

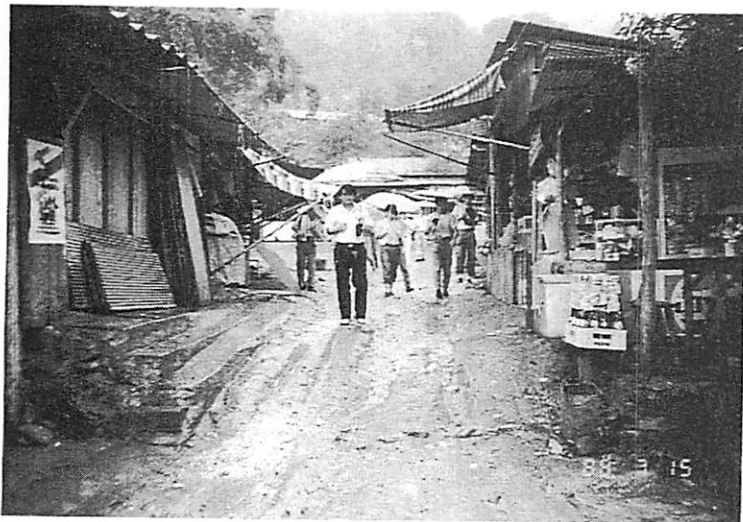
山岳の民・メオ族

メオ族の村に行くには、ドイステープ寺院から観光ジープを利用して行く。

道は途中から赤土のむきだした山道となり、その上雨のため車がスリップし、ゆれが激しくなる。皆、初めのうちは車からふり落とされないように、車のあらゆる所を握りしめ、必死の形相となる。それでも少したつと、だんだんゆれに慣れて来たのかジョークも飛びだし、ガタガタ道のドライブを楽しむ余裕が出てきた。

約30分位でメオ族の村に着く。そこは山岳地帯の斜面に、木造の家々が集まっている小さな集落である。多くの家が店を経営しており、民芸品や水キセル、原色を使った民族衣裳などを売っていて、村全体が観光施設といった感じである。

住居は高床式で、家の前には独特の形をした脱穀用の臼や、水くみ用のカメなどがあり、彼らの生活ぶりがうかがえる。またメオ族の女性の民族衣裳は大変印象的で、金や赤の刺しゅう等をほどこした上着と巻きスカートををはき、髪は丸く結っている。



メオ族の村▲

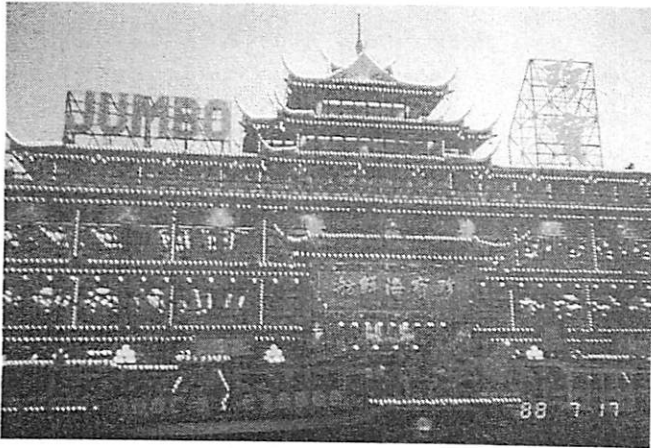
▶
ワット・ブランタード・ドイ・ステープより
山道を車で約30分程の山中に、斜面にへばりつくようにある。



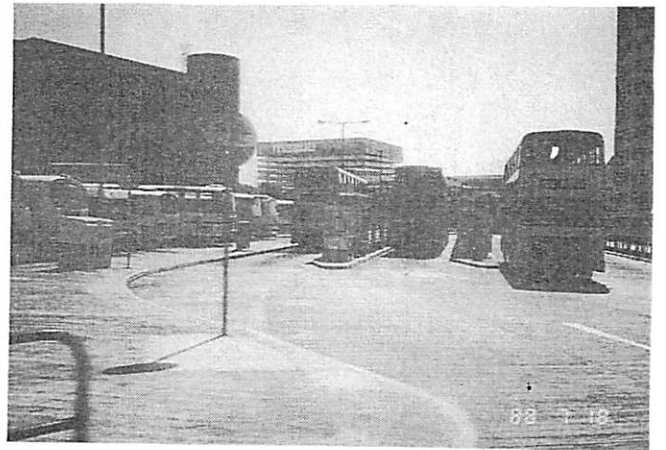
ビジネス都市 香港



地震がない為、細くて高い建物が多く、山と海に挟まれて狭苦しく建っている。



日本人観光客が必ず行くという水上レストラン。
活気があって社交的な空気が漂よう。



めずらしい2階建てバス。

さすが商都である。
広告も大きくてハデ！
効果の程は？





海外旅行は初めての私は、先ずパスポートを取らなくてはならない。パスポートの申請をした後、1週間後発行になる。パスポートを受けとって、中に張り付けてある自分の写真を見ながら、国際人になったんだと実感した。

行き先のタイなど東南アジアでは、コレラやマラリアのような伝染病にかかりやすい。そのために、予防接種を受けたほうがよい。これに感染すると、とても痛い検査をしなければならなかったり、発病すると死んでしまう。そう聞いていた私は、門司検疫所にコレラの予防接種を受けに行った。予防接種は、中1週間くらいおいて、2回に分けて行う。病原菌を注射されたと思うと、予防接種だけで気分が悪くなり、体調がくずれてきたような気がした。とても、神経質になってしまった。

着替、洗面道具、カメラ、薬など荷物を準備したが、海外旅行にはなにか特別必要な物があるのではないかと心配だった。

出発当日は早く目が覚めた。飛行機に乗るのが初めての私は、この日が楽しみで、離陸の時には、自然に顔が笑ってしまった。飛行中の窓から見た景色は、雲の下に海が広がっていて小さい船も見え、1度は見ておきたい風景だなと思った。あのタンカーは原油を運んでいるのだろうか？

飛行機の乗り継いで台北に立寄る。初めて見る外国だが、山があって川があって道、家、田があり、日本と似ている。少し変わった所として留め池が多く見られた。雨が少ないのだろうか。耕地の整備はあまりに進んでないようだ。空港から外を見て日本車が多いのが目についた。

台湾から乗り継いで本日の目的地のタイのバンコクに着いた。空から見た感じでは、水田はタイの方が台湾より整備してある。機外に出るとやはりとても暑い。日本とは違うなと思った。

外国の事は、テレビや本、その他の物でだいたいわかっていたが、自分の生活や世界とまったくちがう次元の事だと思っていた。しかし、行ってみると本当に存在していて、人が暮しているのが不思議な感じがした。外国を体感して認識するのが国際人への1歩だと思ったりした日々であった。

井原晃明 「海外研修の準備・初日」より

謝 辞

今回のタイ国研修にあたり、研修の計画・実施に色々手配いただいた農業水産省構造改善局設計課 末松雄祐氏、海外土地改良技術室長 菊岡保人氏、及び現地でお世話になった、タイ国 I. E. C リーダー松尾和重氏、同 増田明德氏、JICA コーディネーター海老原祥司氏、JICA エキスパート砂沢均氏、同 関岡英明氏にお礼を申し上げるとともに、深く感謝いたします。

研究室だより



各研究室の後ろの数字は研究室の場所を表わしています（例えば（2-2）は2学舎2階のこと。）気軽に研究室へ遊びに行ってみてはどうか？

教養学科

長井達三研究室(2-2)——物理学



セルパターンの統計物理学

これがいま私が研究している題目です。セルパターンというのは田圃のひび割れが示すようなタイプの模様です。自然界には、ミクロには、多結晶の断面から、マクロには、柱状玄武岩の集合まで、また生物の細胞組織など、広範囲に存在します。これらの系が示す模様は如何にしてでき、どういう共通の法則がその下にあるか？というのが、問題です。

この系の特徴は、形を扱わなければならないことです。各セル(最小の区画)の形は角数で表すことが出来ます。多結晶の断面の写真を解析して、次のような法則が発見されています。n角形のセルの周りにくるセルの平均角数は

$$m(n) = a + b/n$$

ここで、aは約5でbは約8です。この式が田圃のひび割れ模様でも成り立っているのでしょうか？まだ、報告はありません。上の式は統計法則ですから、問題にする系のセルの数が大きいほど正確に成り立っているはずですが。

このような問題を、これまでに形ではなく、粒子にたいして発展させられてきた統計力学をお手本にして、理論的に研究しています。



池田治雄研究室(2-2)——数

次にあげた $2=1$ の二つの証明のどこに、どんな誤りがあるか考えて下さい。

(1) $a=b$ とする。

両辺に a をかける。 $a^2=ab$

両辺から b^2 を引く。 $a^2 - b^2 = ab - b^2$

両辺を因数分解する。 $(a+b)(a-b) = b(a-b)$

両辺を $(a-b)$ で割る。 $a+b=b$

仮定より $a=b$ だから $2a=a$

両辺を a で割ると $2=1$

(2) $\log(1+x) = x - \frac{x^2}{2} + \frac{x^3}{3} - \frac{x^4}{4} + \dots$ (マクローリンの展開)である。この式で $x=1$ とおくと

$$\log 2 = 1 - \frac{1}{2} + \frac{1}{3} - \frac{1}{4} + \frac{1}{5} - \frac{1}{6} + \frac{1}{7} - \frac{1}{8} + \frac{1}{9} - \frac{1}{10} + \dots$$

両辺を2倍すると

$$2\log 2 = 2 - 1 + \frac{2}{3} - \frac{1}{2} + \frac{2}{5} - \frac{1}{3} + \frac{1}{7} - \frac{1}{4} + \frac{2}{9} - \frac{1}{5} + \dots$$

$$= 1 - \frac{1}{2} + \frac{1}{3} - \frac{1}{4} + \frac{1}{5} - \frac{1}{6} + \frac{1}{7} - \frac{1}{8} + \frac{1}{9} - \dots$$

$$= \log 2$$

$$\therefore 2\log 2 = \log 2$$

$$\therefore 2 = 1$$

山栄 允研究室(2-2)——英語



日本人は魚を食べる。とくにイカやタコやナマコの好きな日本人も多い。アメリカ人は牛や豚の肉を食べる。彼らにタコを見せると、怪物を日本人は食べるのかとげんなり顔をするし、イカを食べさせるとゴムをかむようだときらう。人種により住む国によって、食物の嗜好はこのようにちがうが、このごろときどき気になることがある。人間以外の動物はどのようなだろう。例えば猫。日本の猫はよく魚を焼くにおいに誘われて、鳴き声を出しながら台所に近寄って来るが、はたして英語をしゃべる国々の猫はどうだろう。あんな魚臭いにおいはいやだというだろうか。猫の鼻づらにタコを出したら怪物に出会った顔をして、ニャンの一声逃げ出すだろうか。他の動物ではどうだろう。英語は、実はそういった興味津々の別世界・新天地の実情を自ら手にとって確かめる手立てでもある。



平尾一郎研究室(2-2)——化

自然現象を対象とした「化学」という学問の教育には一般に講義、演習に加えて「化学実験」を課し化学現象を視覚を通して体得させるのが極めて有効な化学の理解法である。しかし本学工学部のカリキュラムには現在、化学実験は残念ながら組みこまれていない。

私が本学に参った頃から、この点が非常に気にかかり其の対応に苦慮し続けて来たが、本年「映像メディアによる化学教育の充実」という研究課題のもとに特別教育研究費が私に与えられたことは幸いなことであった。

差し当り、中型テレビ4台を配置した教室で講義に先だち化学実験のデモンストレーション、アニメーションなどを組みこんだビデオを放映することによって実際に触れることの出来ない化学現象や目に見えない化学の世界を視覚を通して学生に理解させるとともに興味を持って学生が化学の勉学に励んでくれることを目的とした。

この映像メディアによる視聴覚教室での化学の授業を始めて現在(昭和63年9月末)まで僅か半年ぐらいであるが次の如き、すぐれた収穫を得ていると思う。

1. 学生諸君が化学に興味と理解を示し真面目に授業を受講してくれている。
2. 「化学実験」に頼らなくとも相当の効果が期待できる。
3. 現在、問題となっている100人を超す多人数教育に対して化学の場合、それ相応の対処ができる。

今後とも新しい映像メディアの効果的な導入、ならびに努力を積みかさねて学生諸君の勉学に貢献したいと思っている。学生諸君の協力を切に希望する。

今年も九州工大の教え子連中の協力により九州共立大学の紀要に次の論文を掲載することが出来た。

「新規な生物活性を期待したマイケル付加反応を用いるプロスタグランジン類縁体の合成

九州共立大学研究報告 12 1 (1988)」

更に先日、次の論文を明年3月出版予定の九州共立大学の紀要に投稿した。

「新規な生物活性を期待したオキシランのアルキニル化反応を用いるプロスタグランジン類縁体の合成

九州共立大学研究報告 13 投稿中 (1989)」

田中洋介研究室(2-2)——物理



ハイパー原子核に関しては、一度COMで解説しましたが、今回はハイパー原子核の磁気モーメントに関して述べます。ハイパー原子核の磁気モーメントは、原子核(N)の磁気モーメント(μ_N)とハイペロン(Y)の磁気モーメント(μ_Y)の結合で与えられます; $\tilde{\mu} = \tilde{\mu}_N + \tilde{\mu}_Y$ 。原子核の質量数が奇数で単純な構造を持つ場合は、殻模型波動関数を用いると、この演算子の期待値は、陽子の磁気モーメント(μ_p)、中性子の磁気モーメント(μ_n)およびハイペロンの磁気モーメント(μ_Y)の線形結合として与えられます;

$\mu = a\mu_p + b\mu_n + c\mu_Y$ 。陽子(core+p系)、中性子(core+n系)およびハイペロンの磁気モーメントに関しては、精確な実験値が知られているので、それらを用いるとハイパー原子核の磁気モーメント(μ)を予測することができます。我々は、比較的単純な構造を持つ原子核を選び、いくつかのハイパー原子核の磁気モーメントを計算しています。この様に、ハイパー原子核の磁気モーメントを調べることは、原子核とハイペロンの磁気モーメントを整理し、未知のモーメントを予測し、そして実験的検証を待つことになります。今回の結果は、「Fifth International Conference on Cluster Aspects in Nuclear and Subnuclear Systems, Kyoto, 1988」のProceedingsに発表しました。

齊藤 登研究室(2-2)——数学



今回はユニークな数学書の紹介をしたい。

自然の数理と社会の数理 I, II

微分方程式で解析する

佐藤總夫著 日本評論社

私が本書を皆さんに紹介するのは、自分自身が読んでみてわくわくするような興味を覚えたことが大きな理由である。しかし本書をユニークな数学書として紹介するのは次の三点にある。

第一、話題がこれまでのテキストのように物理学とか工学などの

分野からではなく、美術、経営、軍事、国際政治、生理学、疫学など多方面にわたっており、かつ、きわめて好奇心を刺激するような内容であること。

第二、日常の現象の中から数理モデルを構成し、解析をすすめ、その結果をデータと比較、検討するという過程をくわしく丁寧に解説してあること。読者は自然に数理科学の模範的な方法を学べること。

第三、用いる数学的手段を大学一年程度の微積分と線形代数だけで十分まにあうように配慮してあること。

本書は指定図書として図書館に配架したい。皆さんが本書に挑戦され、知的冒険に旅立たれることを期待する。

関能 浩研究室(記念館)——保健体育



健康度が分ります

「健康度」のものさしに $\dot{V}O_2\max/wt$ (単位体重当りの最大酸素摂取量)を使用することが現在の研究で明らかになっている。心臓、血管、血液、呼吸器官など身体外から酸素を身体内にとり入れ骨格筋・心筋に運ぶ役割の系統と運ばれてきた酸素を筋肉で糖・脂肪を燃焼するために消費する役割の系統の総括的な働きを示すのが $\dot{V}O_2\max/wt$ である。一流のマラソン選手は80ml/kg/分で、一般青年男子は45ml/kg/分という数値が出ている。

本学工学部学生の中から抽出した(1.2回生)肥満者18人、痩身者9人、一般人30人の $\dot{V}O_2\max$ 、 $\dot{V}O_2\max/wt$ の平均値・SDは下記のとおりであった。(昭和63年度)

	$\dot{V}O_2\max$	$\dot{V}O_2\max/wt$
	$\bar{x} \pm S.D$	$\bar{x} \pm S.D$
肥満者	2.68±0.51	34.79±6.09
痩身者	2.29±0.34	46.80±10.18
一般人	2.70±0.60	44.46±8.92
F検定	N.S	P<0.01

この $\dot{V}O_2\max/wt$ が男子35ml/kg/分未満、女子28ml/kg/分未満になると臨床検査が正常であっても異常になりやすいという。従って男子45ml/kg/分、女子38ml/kg/分にしておくのが病気を予防し、健康を保つためによいとされている。

健康度の評価基準を示すと $\dot{V}O_2\max/wt$ が、

55ml以上	青	良好の上
45~55	緑	良好の中
35~45	黄	普通
35ml未満	赤	良くない

ということになる。

本学工学部機械科の村岡先生は健康のために、6月末頃からジョギングを始めたとのこと。9月に $\dot{V}O_2\max/wt$ の測定を私の研究室で行なったところ、64.7ml (絶対値3887ml)もあった。青年をしのご健康度である。近く還暦を迎えられる先生は、毎日近くの公園にあるジョギングコース(1周300米)を1周1分45~50秒のペースで10周をこ

なしておられるという。このことが好結果を生んでいる要因と思う。

一般男女学生諸君は勿論、先生方も健康度の測定を実施してみませんか。

牧原義一研究室(5-2)——物 理



私は物質の磁性(磁気的性質)を実験的に研究しています。2~3の金属を高温で溶融して合金や化合物結晶を作り、それについて測定を行ないます。物質の磁性は低温で顕著な性質を示すため、測定では液体窒素(-196℃)や液体ヘリウム(-269℃)を使います。液体窒素は本学でも簡単に手に入りますが、今、話題になっている高温超伝導体は、この液体窒素温度で超伝導の性質を示す物質です。

今年は(GdLu)Mn₂および(NdLu)Mn₂という結晶を作製し、結晶中のMn(マンガン)原子間の距離を連続的に変化させた場合の磁性の変化について調べました。この結果は、7月にフランスのパリで開催された磁性国際会議(ICM88)で発表しました。

田吹昌俊研究室(2-2)——英 語



九州にはあまり感じないが、外国人の流入は確かに増えている様である。今年の夏、学会で東京に行った折、地下鉄のある駅に降りて驚いた。Bangkokかどこかの都市に来たのかと錯覚する程多数の東南アジア系の人が、プラットホームに立っていたのだ。

元総理の中曽根構想では21世紀までに十数万人の外国人を日本に受け入れるそうだ。この構想は当時の外国からの非関税障壁等の非難に答えて無理を押しつけて提案された感もあるが、近年外国人の増加が目につくようになってきたのは確かである。

これと歩調を合わせて日本語を流暢に話す外国人も増えては来たが、(もちろん第2言語として話す外国人のことだ)この様に増加する外国人の日本語教育をいかに行うかが重要課題になっている。ここで従来の伝統的国語学という体系があまり役に立たないという反省から、最近日本語学というのが注目を集めている。近隣の大学でも日本語学科が大学院レベルで増設されているし、国立国語研究所も昨年から日本語教師資格試験を始めた。それでは何故、同じ日本語を扱う国語学が役に立たず、わざわざ日本語学なる学問体系を新たに作らなければならなかったのだろう。それは、国語学が内包的体系であるからだ。すなわち日本という「内」の体系では完璧であっても「外」には通じないのである。

言語を本当に通じるものにする為には「外」の視点を持たねばならない。日本語も外の視野からすれば、スワヒリ語、英語と同じa languageであり、そこには他の言語と同じ普遍的原則があると考えられる態度こそ、我々日本人が外国人と付き合っていく上で必要とされるものだ。

'88ソウルオリンピックに於ける日本柔道の不振の原因は、どうもこのあたりの日本選手の意識にあるように思えてならない。

武末邦通研究室(2-2)——数 学



私の研究対象は作用素環であるが、ここでは概略、その紹介を試みようと思う。

Hを複素数体C上の線形空間とする。今、直積集合H×HからCへ次の様な写像が定義されているとする。

$$(1) (\alpha\xi + \beta\eta | \gamma) = \alpha(\xi | \gamma) + \beta(\eta | \gamma) \quad \alpha, \beta \in C; \xi, \eta, \gamma \in H$$

$$(2) (\xi | \eta) = \overline{(\eta | \xi)} \quad \xi, \eta \in H$$

$$(3) (\xi | \xi) \geq 0 \quad \text{かつ等号は}\xi = 0\text{の場合に限る。}$$

この写像(1)をH上の内積、又ξ∈Hに対して||ξ|| = √(ξ | ξ)と定義し、|| ||をH上のノルムという。Hを内積(1)と併せ考えて内積空間という。

DをHの或る部分空間とし、DからHへの写像Aが次の条件を満たすとする。

$$A(\alpha\xi + \beta\eta) = \alpha A\xi + \beta A\eta, \quad \alpha, \beta \in C; \xi, \eta \in H$$

このとき、AをDを定義域とするH上の(線形)作用素という。

又、||Aξ|| ≤ ||ξ|| (ξ∈D, ||ξ|| ≤ 1) が実数の部分集合として有界であるときAを有界、そうでないときAを非有界であるという。定義域がHであるH上の有界線形作用素全体の集合をB(H)によって表すことにする。Hに対する適当な仮定の下に(即ちHをヒルバート空間とする)、任意のA∈B(H)に対してA*∈B(H)で(Aξ | η) = (ξ | A*η) ξ, η∈Hを満たすものが只一つある。このA*をAの共役作用素、また写像A∈B(H) → A*∈B(H)を対合という。B(H)の部分集合で、積AB, 和A+B, スカラー倍αA, 対合に関し閉じているものをH上の(有界)作用環という。(有界)作用素環に関しては、既に詳しく研究がなされてい、そのうちの或る種のものに関しては、すばらしい理論が出来上がっている。

ところで、作用素環は量子力学の影響を受けて誕生したのであるが、物理学等で生ずる作用素を或る内積空間上の作用素として表現すると往々にして非有界となる。非有界作用素環に関してもいろいろな研究がされているが、まだ裾野を模索中のところであるように思われる。非有界作用素環の例が豊富に見つかれば一段と研究が進むと思うのだが。私自身そのような例を捜しているところである。

濱田英隆研究室(2-2)——数 学



私の専門分野の専門書・論文にはいろいろな国の言葉がでてきます。英語・フランス語・ドイツ語などは、しばしばでてきますが、先日は、イタリア語とロシア語の論文を読みました。大学時代には、英語とフランス語を学び、ドイツ語も少し勉強したので、この3つの外国語の論文を読むのには、あまり苦勞しません。ところが、イタリア語やロシア語は、ほとんど見た事もないので、一つの論文を読むのに、何日も辞書とにらめっこという事になります。文法も全く知らないの、単語と単語をうまくつなぎあわせなければならま

せん。この作業は、大変なものです。また、とても面白いものでもあります。英語などでは、まず、文章の意味を理解して、次に、数学を理解する事になります。ところが、イタリア語やロシア語では、逆に、単語と単語を数学を考えながらうまくつなぎあわせて、文章の意味を理解します。文法を全く知らずに、外国語の本を読んでもみるのも、なかなか楽しいものです。皆さんも一度試してみたいかがでしょう。

島谷 浩研究室(2-2)——英 語



母国語(第1言語)を学習し習得するように、外国語(第2言語)が習得できればと誰もが願うものである。しかし、実際は、外国語学習者が、ネイティブ・スピーカー(母国語話者)並みの言語運用能力を獲得するのは極めて困難である。

言語習得のメカニズムを解明する研究は、さまざまな角度から進められており、第1言語、第2言語の習得プロセスに、ある程度の普遍性が認められつつある。しかし、現在のところ、実証データに支持された第2言語習得のプロセスを完全に説明する理論が、確立されているわけではない。私の専門とする応用言語学という比較的新しい分野は、言語獲得のメカニズムを探りながら、効果的な言語学習方略と言語教授法確立のための理論構築を目指している。

機械工学科

上滝具貞研究室(2-2)——流 体



本研究室で数年続けていたカルマン渦による振動解析は装置の都合で中止し、本年度から「トンネル内の物体の抵抗に関する実験を始めることになりました。これに関連した文献は意外に少ないので、とに角、実験してみることにし、目下、装置の組立中です。近日中に実験を始める予定で頑張っています(卒研 仁木教文、内野政彦)。

つぎに粉体の空気輸送のさいにパイプの中に粉体を最も手軽に送り込めるインゼクションフィーダの特性を調べるための実験を昨年につづいて今年もやる予定です。今年は昨年のデータを利用して、いよいよ菜種などの輸送実験をおこないます(卒研 谷井一博、橋倉宏典)

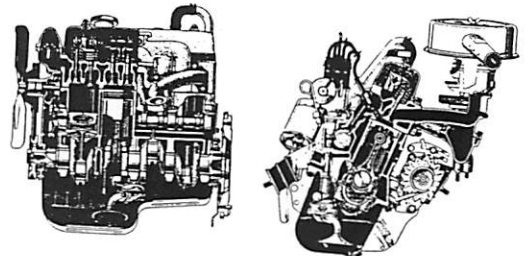
水力実験室は設備改造と合理化を行なうと同時に新鋭橋本さんの努力によって実験室が見違えるように整頓され学生実験がスムーズにできるようになりました。

藤原正孝研究室(5-2)——熱工学



内燃機関(Internal Combustion Engines)が発明されて100年余、研究開発の努力の結果、成熟期に入っている。それに加えて、コンピュータ技術の導入により、火花点火、燃焼、ガス流動、シリンダー設計、ピストン設計等の研究開発に一層活発化している。本学熱工学研究室においても、日本エンジン研究開発学会を設置(1968年)して、活発に活動している。それとともに、内燃機関の研究の中で、最近特に活発になってきた、数値シミュレーションと、計測技術の開発を進めている。つまり、研究開発段階における数値シミュレーションによる計測予測技術の重要性もますます増大している。熱工学研究室の昭和63年度の卒業研究題目「シリンダ内乱流燃焼の構造を解明するための研究」である。

卒論生 柏尾 伸吾 河野 春彦 照屋 哲
仲原 輝彦



乗用車用ガソリン機関 (Toyota Corolla)

木村和男研究室(2-2)——材料力学



卒業研究題目：万能試験機の測定部の改良
氏名：積賀輝嘉・吉野浩司・渡辺久晃

機械工学科に設置してある万能試験機の測定部を改良し、精度の向上と、パソコン計測を可能ならしめる測定システムの構築を今年の研究課題として、現在卒研生はこれに取り組んでいる。昭和55年度の卒研生が作製した試験片つかみ装置を利用することとし、ロードセル、伸び計は新規に購入することとした。伸び計較正器は卒研生が考案し設計製作することになっている。パソコンにデータを取り込むソフト、更には取り込んだデータの各種計算、プリンター、プロッターへの出力ソフト等もプログラムを開発し、又必要な電子デバイス等一連のシステムに必要なものを研究開発することになっている。卒研生は就職もほぼ決まりホットしているのか、いま一つ熱が入っていないようだが、これから大いにハッスルして立派な測定システムを完成させることと思はれる。

清水茂俊研究室(2-2)——材料力学



清水教授を中心として、下記のテーマについて卒業研究を行なっています。

本研究は新素材に、ガラス繊維強化プラスチック(GFRP)を使用しています。GFRPとは、金属材料に比べて、強度的に劣っているプラスチックをガラス等の繊維材で補いすぐれた耐食性、小さい比重を生かし、金属材料なみの強度を持った複合材料のことであります。近年では、金属材料に代わる物として、このGFRP等は、製造業の分野でも徐々に普及して身近な物になりつつあります。そういう現状に対応するために、GFRPの引張り試験、曲げ試験及び、回転曲げ疲労試験を行ない、中強度鋼のS45Cと機械的性質を比較するのが、この研究の目的であります。

材料力学の分野では、重要なテーマであるので、我々学生三名は、清水教授の指導の下に、完成度の高い卒業研究にするため、精一杯頑張っていきたいと思っております。

卒業研究題目：新素材の疲労破壊に関する研究
氏名：玉那覇忠、蜂屋光生、平昭雄

吉富 佐研究室(2-2)——ロボット



ロボットは夢多き製品である。人がいやがること、人が出来ないことを総てロボットにやらせようと、ナショナルプロジェクト等一斉に最先端の技術が投入されている。しかしどの研究も歴史が浅くまだ要素開発のステップである。日本の技術を総動員して展示した筑波万博の歩くロボットは、よちよち歩きの満1歳の子供程の運動能力もなかった。夢が実現する日はまだ遠い。

一方、既に大量に実用されている産業用ロボットは、大学などの研究機関のテーマに殆ど上がっておらず問題は残っていないように見えるが、最近の多品種少量生産に対する対策は未解決のまま研究は殆ど進んでいないのである。当研究室では此のテーマを取り上げ、どうすればロボットに短時間に仕事を巧く教えられるかの研究を行っている。4名の卒研生には先ず図書館で文献資料を調べ整理して現在の研究状況をつかむ、次にロボットを実際動かしてロボット教示の問題点を数値化する、文献などをヒントに自分で考えて新しい方法を立案する、その方法をモデルで確かめてみるという、開発・研究の進め方を一通り体験してもらうことにした。卒業研究では、自分で問題を解決する手順を学ぶことが、良い研究結果を得ること以上に重要だからである。

テーマ ロボット動作指示方法の研究

卒研生 伊豆田道明、今石 智博、鬼武 和行、山下 安法

村岡俊夫研究室(2-2)——工 作



シルバーグレイの若さに満ち、熱心な村岡先生のもとで我々4名の卒研チームは、工作機械の熱変形の解析というテーマの研究にとりこんでいます。

研究は先生の厳しい指導のもとに、まず国内の研究論文や文献と先輩の卒研論文の勉強から始め、夏休みから実際に横形マシニングセンタを使用して、実験、計測を行なっており、これから実験結果の膨大なデータの解析に入ります。

工作機械は運転により、回転部、移動部などから発熱し、また周囲温度も変化します。金属は鉄の場合で温度が1℃上昇すると、長さが1mでは0.01mm伸びます。このため時間の経過とともに温度変化の影響を受け、切削工具を取付ける主軸と、工作物を支持するテーブル間に相対変位が起き、この変位のため加工精度は低下します。とくにマシニングセンタは厳しい加工精度が要求されるので、熱変形の減少が加工精度向上のための重要な要素です。

我々の研究の目的は、この熱変形を把握し加工精度の向上に役立つことです。良い成果を上げるべく熱心にとりこんでいます。

(記：梅津栄治 9月30日)

○テーマ：工作機械の熱変形の解析

○卒研生：梅津栄治、国石弘樹、宮田弘一郎、山田波留男

佐藤征一研究室(8-1)——ロボット



ソウル・オリンピックも、終幕が近づいてきた。学校は試験中で卒業研究も一休みしている。

これまでに当研究室では、実験室にあるロボットについて一通り卒研テーマとして取り上げ動かしてきた。不思議なことに、どのロボットも制御プログラムの中に“力”というものが全く顔を出してこなかった。丁度XYプロッタに絵をかかせるように、コースだけを指示すればロボットは動いてくれたのである。しかしこれでは位置決めだけではなく力制御までやろうとすると行き詰ってしまうだろう。そのような理由で今年は「マニピュレータの動的制御」をテーマにとり上げた。実験装置を作るのは大変なのでシミュレーションだけにする。今年の卒論生はよく頑張ってくれて夏休み中にも興味深いデータが少しずつ出始めている。

卒研テーマ：マニピュレータの動的制御

学 生：井出 和良、惣中 新吾、中尾 建一、正田 稔隆

藤原義也研究室(2-2)——工業計測



例年、研究室紹介記事を書く頃は、卒論生の出入りは殆んどなく、今年もまた孤軍奮闘の毎日である。新学期早々の期待は風前の灯の

感があるが、それでも今年も三人の卒論生が、昨年からの当研究室の研究テーマである「カプセル輸送システムの特性解析」について取り組むことになっている。

学部4年間の教育の総決算のつもりで、指導に当たりたいと思っているので、卒論生諸君は、残りの期間で疑問点は自分で勉強し解決する習慣を十二分に体験してもらいたい。そして三月に無事卒業したあとは、一人前の社会人としての活躍を願うのみである。

卒論生 0107 稲岡 利徳
0112 宇野 益彰
0116 岡本 和彦

上条恵右研究室(2-2)——自動制御



私たちの身の回りには、金型と呼ばれる製品の型にプラスチック材料などを流しこんで作られているものがたくさんあります。この金型は、製品を多量生産する上では欠かせない代表的なツールなのです。でも最近の消費ニーズの多様化に伴って、短納期・低価格・高品質がこの金型にも強く望まれるようになってきました。そこでこの対応策としてCAD/CAMシステムが注目され、積極的な導入がはかられています。しかし、一番のネックは、金型を仕上げる最終工程のみがきの作業なのです。金型の仕上がり具合がそのまま製品に転写されてしまうのですから、金型の面はピカピカにしておかねばなりません。この型をくずさずピカピカにというのは大変に難しい作業で、時間はかかっても人手に頼っているのが現状です。もちろんピカピカの具合をみるのも人間です。

こういうわけで、この金型の仕上げ作業を自動でやれないだろうかということになったわけです。そこで、自動みがきの後の仕上がり具合も自動的に測定することを考え、今年はこのテーマで取り組んでいます。

「曲面の面粗さ自動測定に関する研究」

チームのメンバーは4名で、イベントの企画倒れにもめげず、時に4人で博多まで長浜ラーメンを食いに出かけたりで、盛り上がりつつ、日々頑張っています。(生田記)

卒論生：生田 宏、石井 義徳、中村 一裕、目黒 叔浩

電気工学科

守 誠一研究室(2-2)——電波工学



卒業して間のない教え子達の求人をおかねての来訪が最近めっきりふえて彼等の話を聞くのが楽しみである。社会に出るの頼もしい限りの急成長ぶりには目を見張るものがあり、どこに、こんな潜在能

力があつたのかと今更のごとく一驚させられている。

キャンパスを吹き抜けてくる風にも秋の深まりを覚えます。そろそろ学部4年間の教育の総計算の意味をもって卒論の指導にも当たりたいと思っている。

卒業研究テーマと氏名

光通信の現状と展望	内田 正夫
	梅田 和敬
P. C. Mの理論	岩瀬 臣範
	上原 訓莊
濾波器の理論	喜連川満信
	諸橋 徳久
衛星通信の現状	西田 幸司

岡本辰美研究室(2-2)——電気材料



卒業研究テーマ

○磁気粉粒による研磨方法

回転磁石に依らない研磨方法の分析。

氏名 沖野 尚

金平 浩

洲浜智夫

○気体レーザーについて

未来レーザーである色素レーザーについて、概要をのべる。

氏名 尻屋 貞也

○半導体レーザーについて

安定化を中心とした新型レーザーの構造について

氏名 金村 茂則

○CVD方法によるICチップの薄膜形成について。

薄膜の密着性を高める複合プロセスについて調査。

氏名 高橋 将三

藤原 敏則

久保田信久研究室(センタ)——電子応用



62~63年度前半の当研究室の課題は、①EWSとパソコンの組合せからなる情報処理教育支援システムの構築と授業への導入、②九州共立大学情報ネットワークの実験開始である。前者は情報処理センターの次期システムのひな型であり、後者は来るべき学内ネットワーク時代にむけての基礎データ収集を目的としている。いずれも近い将来の情報処理センターのシステムを構成する主要な柱となるものである。

卒論では、現在のコンピューターシステムの一つの大きな流れになっているUnixとC言語について学生諸君といっしょに取り組んでいる。

卒論研究題目：C言語とその応用

氏名 石岡 正三 尾上 敏郎 柏原 真彦
 岸本 重昭 木村 公一 後藤 博文
 沢井 真悟 関山 常和 手島 武司
 山口 治徳 竹森 英隆 中村 達郎
 町田 宗明

松枝宏明研究室(2-2)——電気回路



卒業研究題目：過渡現象数値計算

氏名：菖蒲 裕司
 有塚 博
 伊藤 和彦
 岡本 輝明

卒業研究はラプラス変換による過渡現象解析を行なう。その他にパソコンを扱えるように、ワープロやLotus 1・2・3等を練習し、BASICによるプログラミングがある程度出来るようになって卒業して欲しいと思います。

今年度は、夏休み中に全員で海水浴へ行きました。

秋には研究室コンパを予定しています。

大学生活最後の一年間を楽しく充実したものにしたいと願っております。

福田順子研究室(センタ)——情報処理



画像・図形処理について

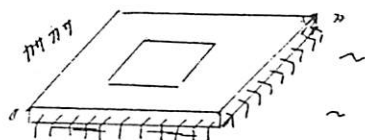
伊藤岳司、大田健一郎、佐喜真忠、中村邦昭、
 東山寿彦、堀 睦、渡辺 信

「コンピュータ・グラフィックス (CG)」はテレビの商業を初めとし、ゲーム、医療、ビジネスなど多くの分野に利用され、大衆化の時代に入ってきました。

日常生活で使われているCGという言葉は完成された映像あるいは動画そのものを意味していることが多いようですがこの言葉の本来の意味は計算機を用いた図形および画像の処理と表示のようです。当研究室では初めからこのような難しいことはできないので、まず一個の点を画面に描くことから始め、「どうしてこうなるのだろうか」また「目的にあったソフトに変えるにはどのようにすればよいのだろうか」など、CGのアルゴリズムを具体例で学習し、問題を解決していくことから始めています。

これを読んでいるみなさんもあまりCGを難しいものとは考えずに気軽にマイコンに接し、CGの美しさに魅せられてください。

(堀 記)



萩原益雄研究室(2-1)——電気機器



電動機駆動の主流になりつつあるパワーエレクトロニクスを利用した電動機の駆動、制御に関連して、下記の三つのテーマで7名の諸君が卒業研究に取り組んでいる。

- インバータ駆動誘導電動機の特性算定法について
山本 貞也 井上 睦
- PWMインバータによる誘導電動機の制御について
太田 昌利 半田 正 吉岡 直史
- 静止レオナードによる直流電動機の制御について
新井 孝明 大浜 篤

末安久利研究室(2-3)——電子機器



最近の科学技術分野におけるコンピュータ利用の高度化には目覚ましいものがある。特にコンピュータの計算速度が飛躍的に向上するに伴い、膨大な計算結果の視覚化への要求が深まり、その内容も二次元図形から三次元図形及び画像データへと広がっている。

本年度、画像処理装置を導入したので、画像処理、これを支えるアプリケーションについて研究を進める予定である。また、バイオマグネトロニクスの研究分野でも画像処理装置を活用したいと考えている。

卒業研究題目

- 処理装置 その仕組とそれを支える技術
木下 茂・宮原 元・久住哲也
- バイオマグネトロニクス 磁気と生物
犬塚清隆・楠 秀之・松永信二・後藤一馬

土木工学科

安田与吉研究室(5-2)——都市計画



都市のなかには、ある程度以上の人口になると、人口は益々増え続け、市街地は内部に過密の地域を残しながら、外へと膨張してゆき、自動車台数の増加とともに、交通は混雑を増してゆく。

那覇市は沖縄県の県都で、市域面積37平方キロ、人口は約31万人で、人口密度は平方キロあたり約8,100人という超過密都市である。自動車台数は多く、道路幅は狭く、交通の渋滞は増大傾向である。

これに対しては総合交通計画を樹立すべきであるが、その一つとして公共輸送システムとしての鉄軌道中量輸送機関の整備を計画す

べきであろう。このため、

卒論生の比嘉克吉、福地保泉両君のテーマは「那覇モノレール計画」である。

鐘ヶ江貢研究室(5-3)——土質工学



ボタとは石炭採掘に伴い搬出され、選炭によって廃棄された岩屑及び石炭の総称で、このボタが自然発火によって燃焼したものを「焼ボタ」未燃焼のものを「生ボタ」と呼んでいる。「焼ボタ」は埋立材料、コンクリート用細粗骨材等に利用されているが、「生ボタ」も道路の盛土材として試用されている。

以上のことから次の諸君が田川地区赤池炭鉱のボタの採取を行い卒業研究に取り組んでいる。

岩永 隆司

中島 博之

題目：炭鉱ボタの物理的及び力学的特性について比重、粒度、液性、塑性限界、締め固め、修正CBR試験

最上幸夫研究室(5-2)——鉄道工学



本研究室における主な研究テーマは以下のようである。

「衝撃を受けた鋼材ばりの塑性変形について」

「軌道構造の動力学的特性について」

「分担率を考慮した交通量配分について」

なお、卒論生の氏名とテーマは次の通りである。

難波 克彦：交通事故とその対策

諫山幸男研究室(5-2)——土木材料



数年前から、土木材料の一つとしてシラスバルーンを用いた軽量コンクリートに関する実験的研究を行っている。これまでに得られた結果から、材料の比圧縮強度は、いろいろな既存材料に比べて2~3倍程度大きい、吸水率が70~80%と異常に大きく、実用上問題があることがわかった。

今年度は、その対策の一つとして、ある特殊なポリマーエマルジョンを使用し、その材料物性に及ぼす効果を調べている。

尚、本研究に対し鹿児島県資源開発協議会より委託研究の申請があり、本学受託研究規定により実施することとなった。

卒研学生；

8308 乙重 俊幸

9322 中山 義仁



長弘雄次研究室(5-2)——測量



今年世紀の土木工事としての青函トンネル、瀬戸大橋のビッグプロジェクトが完成した記念すべき年でありますが、この完成の陰には新しい測量技術、器械が活躍しました。

本研究室では新鋭の測量トータルシステムを使用して数年前から取り組んでいる学園全体の地形図作成の研究を進めていますが、学園前の道路拡幅工事も行われており逐次整備されてくるに従い、学園全体の土地の有効利用を図るべく、現在一面しか無い道路を、両面から学園に入れるような道路計画などを卒研学生が研究しています。

本年度は、次の諸君が卒業研究に取り組んでいます。

○ 武田 武・山口 浩人

学園内の地形図、地籍図作成に関する研究

○ 川岸 寛・森山 浩成

学園内進入の道路計画に関する研究

小坪清真研究室(5-2)——構造力学



本州四国を結ぶ夢の懸け橋が開通してすでに半年になるが、道路、鉄道併用橋としての吊橋の架設は世界最初のもので、我が国の土木技術のすばらしさを世界に示したものである。中でも地震、台風の多い我が国での長大橋梁の建設には、耐震、耐風工学の大きな寄与があったことを忘れてはならない。

当研究室の研究は橋梁、ダムその他の土木構造物の耐震設計法の確立、橋梁の免震法、走行車両による橋梁の振動の防止、消化槽の内容液の地震応答防止など、力学に関するものであるが、地震の少ない九州においては、一般の人はもちろん、学生も耐震に対する関心が薄いようである。

本年度も学生の卒論題目は力学的内容のものを避け、つぎの通りとした。

○ 重力ダムの安定解析法の研究 花畑 文哉

○ 道路交通による振動公害に及ぼす

地盤種別の影響

佐藤 礼爾

松下博通研究室(5-3)——

コンクリート工学



国の社会資本の充実に、そして国民一人一人の生活に、大きく寄与しているのが土木工学であり、国家予算の大半が土木に関連している。しかも、国民の割以上の人々がこの土木に関係する仕事に携わり、それによって生活を維持している。このように、国の生産力は、土木の盛衰にかかっているとんでも過言ではない。

この土木事業で、必ずといって良いほどに使用されるのがコンク

リートであり、この研究は絶え間なく推し進められなければならない。

コンクリートといえば、水とセメントと砂と砂利を混ぜ合わせれば、それだけでOKと考えられがちであるが、さにあらず、その作り方で、100年以上維持できるものから、わずか数年間で壊れるものまで、その品質は大きく変動する。しかも、コンクリートに要求される品質も、時代とともに多彩になってきており、むしろ研究のほうに時代の要求に遅れがちになっているのが現状であろう。

このような現状を背景として、我が研究室は、あらゆる方面のコンクリート技術の問題点を明らかにすべく、日夜、奮闘努力している。現在、抱えている問題の幾つかを示すと、

- ・福岡市近郊に建設予定のダムについて、その材料とコンクリート配合をどのように関連づけるか？
- ・遠賀郡の水不足対策のため、地下ダムを作るとすれば、コンクリートはどのようにすべきか？
- ・炭鉱の廃材であるボタで造成された地域で、ボタ中の硫酸塩による基礎コンクリートの劣化を、どのように対処するか？
- ・海砂の塩分による鉄筋の腐食にどう対処するか？
- ・関門国道トンネルなど、トンネル内の排気口のコンクリートの排気ガスによる劣化に対する延命策は？
- ・我が国のコンクリート構造物の設計基準の見直しと、修正案の呈示？などなど……。

これらの問題点は、何等の拘わりがないものであっても、いつかは役に立つ重要な問題であり、研究室では、あれこれと実験検討が行われている。

とにかく、多忙で、厳しく、絶えず大声の聞こえる、そして一丸となって頑張っている研究室であろう。

以下、研究室の学生に一言ずつ述べてもらう。

「礎野隆起です！」この研究室に入って早9ヵ月過ぎて、とにかく一言では語れない研究室です。コンクリート、これが一筋縄ではいかない物で奥が深く次から次から問題点、新しい実験の構想が出て来て、僕達には新しいことばかりで苦労も多く有ります。しかし僕達の研究室は、親方 松下先生の本で日夜3人で力を合わせて他の大学にも優る研究を続けて居ます。

「興呂薫明です!!」この研究室での僕の研究テーマは、主に疲労について行っています。まだ今は準備段階なので実験の構想、流れを考えている段階で、もう実験に入るのだからそれに向かって準備を進めています。

この研究室で各テーマに全力を尽くして、学生生活に悔いの残らないようにみんなと頑張っていこうと思います。

「林 雅典です!!!」僕が思うにこの研究室はどこの研究室にも負けない活発な活動をしていると思います。大変忙しい研究室だからたまに気を抜いて先生から怒りの声と愛のゲンコツが飛び大変かわいがって戴けます。

僕の今行っている研究は、高炉スラグの研究で収縮試験、耐酸試験について日夜測定に心血を注いで居ます。この研究の結果の良しあしは抜きにして昨年先輩達に負けずに少しでも多くを学

び頑張っていこうと思います。

三原徹治研究室(5-3)——構造工学



私達の研究室では、構造物の設計問題について研究しています。

高橋大作は、鉄筋コンクリートの限界状態設計法について、許容応力設計法と比較して経済性、安全性に関してどのような利点があるかの研究を行います。

東島勝義は「逐次線形化降伏条件を用いた塑性解析手法の開発に関する研究」を行います。これは簡単にいって塑性解析を今より簡単にしかも解析時間を短縮しようというものです。

一言、今から卒業までびっちりこのタコ部屋で研究して行くに当たっては我なりの不安がありますが、やるっきゃないのでがんばります。

田中邦博研究室(5-3)——測量・基礎工学



当研究室では、法面安定についての設計をいかに簡単に容易に行なうことが出来るかを種々の方面から検討している。

今年は、法面を構成する土の力学的な定数をどのように決定したらよいかについて実験データをもとに検討しています。

卒論生としては私(北野正裕)一人で頑張っていますがまとまるかどうか心配です。

卒論題目:「乱さないまき土」のせん断強度について。

建築学科

重藤和之研究室(8-1)——建築材料



今年は「暑中コンクリート」の研究の一環として暑中環境下における鉄筋コンクリート構造物躯体の表層コンクリートの劣化現象に注目した研究を進めております。

夏期三大学合同研修会は老岐で開催されましたが、七転八倒の毎日でした。恒例により、研究室員紹介を行います。

桑原勝志: 学年トップの奇才。不可思議。御存じ鹿野町の出身。細い目で杉良太郎ばりの流し目を少女へ送る事が彼の日課。自称真田広之。柳井工業高校出身。

勝谷昌寛: 裏番の勝谷。研究員のまとめ役のようであるが専門はパチスロ、ただし好不調の波が激しい。三原工業高校出身。

速水 亨: 生真面目勉強家と思いきや単位のためなら御調子発揮。汚れずだ袋をぶら下げた、むちゃくちゃを連発する男。自称草刈

正雄。備前東高校出身。

以下沖縄軍団御一行様。

池山哲矢：のんきな池山。ビールはだめだが泡盛なら無制限。沖縄工業高校出身。

豊里哲也：エイサーの鬼。これも酒に強い。しかし酔うと陽気になりすぎる。美里工業高校出身。

久保田晃治：減らず口。酒は全然駄目。テレビアイドル大好き人間。自称ファミコン帝王。浦添高校出身。

謝花善考：一見おとなしそうに見えるが、パチンコの世界に没頭すると人間が変わる。沖縄工業高校出身。

吉永哲也：何度も破門の難関を切り抜けてきた達人。又の名を蘇りの吉永と言う。崇徳高校出身。

ここ（研究室）はよかとこ一度はきんしゃい。

（文任・速水）

竹下秀俊研究室(8-2)——建築計画



当研究室の今年度の卒論テーマは「紫川団地における居住環境整備について」と「住宅平面計画研究の到達点と今後の課題について」の2つである。

前者のテーマは、北九州市小倉北区紫川団地における住戸改善（中廊下型狭小住宅の改築）と団地の環境整備の課題について調査分析したものであり、北九州市からの委託研究である。

後者のテーマは、昭和50年以降今日まで、建築学会大会で発表されたもの、及び論文報告集について、その研究成果と今後の課題を整理し、これからの当研究室での住宅研究の方向を明らかにしようとするものである。その内容は農家住宅、都市住宅、高齢者・身障者向住宅の3つに分かれている。

今年の当研究室の卒論生は以下の7名である。

大神敏一、信宮靖、新田剛、藤岡泰、吉留優二、宮崎一朗、岡譲治



尾道建二研究室(5-3)——建築歴史

利口な奴ほど、「遊び」と「仕事」は徹底しているものである。これは、世の常識的な見解であろう。当研究室も利口になるべく、「人生とは何か？」を考えつつ学生の身分と日常生活に励んでいる。大分県竹田市の町並調査をした事もあって、十月一日に行われた「竹田の歴史を生かした町づくり」シンポジウムに学生諸君と参加した。昼間は準備やらで忙しかったが、閉会後は懇親会、2次会と竹田の街へ繰り出した。九州各地から集まった他大学の先生方と夜のふけるまで「町づくりはどうすればうまく行くのか」の議論に熱中した。（学生はタダで酒が飲めたのだ！）酒に酔うまま九州山地の山間部に生づく町並を歩くと、夜のしじまの中で古い時代へタイムスリップした思いであった。

話は前後するが、夏休みには、玄海灘にて熊本大学の比野研究室とキャンプを張った。釣りをするやら、水上スキーをするやら（残念ながら水上スキーをマスターできた奴はだれもいなかった）クルージングをするやら、夜はビール片手にバーベキューをつついたり、赤い炎と燃えた夏の日であった。

なお、本研究室はモジュール及び、設計システムの研究という事で、門司港の洋風建築や南九州の石造洋風建築の調査研究、又、江戸時代の古文書解読による建築システムの研究を行っている。

山崎直也研究室(8-2)——建築設計製図



研究テーマ

「間伐材の利用によるログハウスの試作及び工法開発」

当研究室は山崎先生の指導のもと6名の研究生で間伐材利用によるログハウスの新工法を考え試作を行なっています。

都会での生活に慣れていたせいか、山にこもりながらの作業には抵抗がありましたが、建築科として、家を建てるという一つの目的を達成させるため、皆で一致団結し合いががんばっています。

それでは、当研究室の先生と研究生の紹介をします。

山崎 直也先生：山登りとお酒が大好きで、カントリーミュージックを弾かせたら天下一品

石垣 克：大雑把な性格で、酔うとたちが悪い

今村 静光：当研究室の雰囲気をごませるひょうきん者

宇都 英一郎：ログハウスを造るにあたり、先生の右腕となり頼りになる男

佐々木 修：当研究室のリーダー的存在であり、卒論にあたってはまとめ役でもある

玉城 仁：規則正しい生活を行っているが食生活の乱れが最近栄養失調さみである

元木 広典：当研究室で腕相撲No.1、ログハウス造りでもがんばり屋

永田隆昌研究室(8-2)——都市計画



当研究室では、「地区計画の計画単位設定に関する基礎的研究」をこれまで継続して行ってきたが、本年度は、これに加えて、「西折尾地区の改善計画に関する研究」にも、着手している。

「地区計画の計画単位設定に関する基礎的研究」については、昨年度卒業論文において、地区の境界要素となり得る地形地物の条件の中の、道路による地域の分断状況をとらえ、最終的な、地域を分断する可能性のある、又は地区の境界要素となり得る道路の基準を求めることができた。しかしながら、河川、鉄道、斜面等々の、地域を分断する可能性のある、又は地区の境界要素となり得る地形地物については、まだ、基準づけられていない。したがって、河川、

鉄道、斜面等々の基準を求める必要がある。河川、鉄道、斜面等々の基準と昨年度卒業論文の道路に関する基準を合せることによって、当研究室の最終的な目標である、望ましい地区計画の計画単位の提案といった最終的目標に一步近づくのである。

「西折尾地区の改善計画に関する研究」については、建物現況調査、住宅現況調査、土地利用現況調査、屋根及び玄関位置現況調査、アンケート調査、などいろいろな角度から調査を行い西折尾地区に最も適した改善計画案を策定する予定である。

又、当研究室では、毎年ゼミ旅行を実施しているが、本年のゼミ旅行は、シンガポール旅行を実施した。シンガポールは、たいへん街並が美しく、建築物も複雑な形をしていた。まだいろいろと文章としては、現すことのできない感動を覚え、とても有意義なものであった。

当研究室において、都市計画という分野を専攻することは、広い視野を得ることになるだろう。

文責：松永隆一

佐藤典美研究室(8-4)—— 鉄筋コンクリート構造



鉄筋コンクリート構造耐震壁の力学的な性質を研究するのが本研究室の主な研究課題である。

耐震壁は窓などの開口を有することが多く、この開口による耐震壁の力学的な性状の変化を調べることが本年度の卒業研究のテーマになっており、今年は特に弾性解析を主に行うことにしている。

平坂継臣研究室(8-4)——鉄骨構造



当研究室では、鉄骨柱脚を鉄筋コンクリートで補強したいわゆる根巻き柱脚の実験研究を行っている。

今年は昨年に引続き近年建築物に多く用いられるようになった角型鋼管を用いた根巻き柱脚の実験を行っている。4月より新しいスタッフの許試験体の製作に汗を流しており、徹夜もものとせず頑張っている。10月からは破壊実験が待っており、面白い結果が現れることを期待している。

スタッフ 卒論生 千種幹治

特論生 谷口美鈴 寺岡博満 中村隆一 日高義博

石内悌三研究室(8-3)——建築設備



当研究室では建築環境学の中の水環境ととり組んでいる。その中で給湯の使用量のデータを得るために夏休みを利用して産業医科大学病院(ベッド数 618床)をモデルに、一週間実測を行った。勿論同病院の御好意により過去の資料を見せてもらって卒論生の斉藤成央君がまとめている。病院の給湯設備設計の資料の一助になればと期待している。

建築設備分野の中で吾々の家庭からの生活廃水の処理の問題がある。現在多く使われている活性汚泥法による有効な微生物の良好な環境を見出したいと、実験装置を使って試行錯誤を繰り返しながら研究しています。

開発学科

松原 茂研究室(西-6)——水理工学



昨年度の研究テーマは(1) 土の熱的性質の調査と(2) 海岸地下水の潮汐による振動の解析であった。(1)のテーマは、土質工学では寒冷地などでかねてから問題にされている鉄道線路の凍上とか、舗装道路の凍上に関係している。その他、水分を多量に含む軟弱地層中の地下工事で用いられる凍結工法などに基礎理論の面がかかわっている。また、開発学科のテーマである居住環境の問題としての接地気候に地温は深く関与するので興味深い。

(2)のテーマは最近のウォーターフロント開発の際、問題になるであろう地下水の塩水化に対する基礎研究に役立たせようという狙いがある。本年度は上記2つのテーマの研究を更に深く進めている。今後の研究としては海浜地帯における地震による土壌の液化化の理論的研究を進めたいと思っている。現在の所、実験室が無く、測定器具も殆ど揃っていない。この現状を一日も早く脱却したいものである。

長 智男研究室(西-6)——水資源工学



古代、ナイルやチグリス・ユフラス河岸に発達した文明は、これらの河水を資源として活用し、高度に食糧を生産したことにあった。沙漠の水利用開発は、水資源の開発と利用の極たるもので、多くの興味をひかれる。近年の開発途上国の水利用開発は、援助指導した先進国の科学技術の影響を大きく受けているので、本国でのあり方を見ないと理解できない。昨年はモロッコでの国際灌漑排水会議の帰途、スペインとフランスの研究機関と現場を訪ねて理解を深めることができた。開発学科の現状では実験的研究はできないが、集収した文献資料による研究も夢がある。

わが国の水資源量の $\frac{2}{3}$ は農業用水であるが、近年、都市用水の著しい増大とともに、高度な開発・利用・管理の時代になりつつある。湿润地域に属するわが国における水利用の特徴の一つは、降雨の不足分を補う補給灌漑にある。湛水栽培の水田と不飽和水分層の畑地とでは、それぞれの確率渇水年における有効雨量と必要水量が大きく異ってくる。近く北部九州の資料から検討を始めている。

卒研生 三ヶ島哲也

福田哲郎研究室(西-7)——灌漑利水工学



当研究室は主に灌漑システムに関する研究を行っているが、本年は下記のテーマを手掛けている。

①低平地クリーク水田地帯の用排水操作の分析

タンクモデルと水収支法を併用して解析する。これは卒研のテーマにもとり入れているメインテーマである。

卒研生：丸尾浩二

②河川中流域の水収支解析

筑後川中流域を対象として、タンクモデルを使用して解析を行う。

③農業用施設に用いられているゲートの不具合についてアンケート調査とその分析

これは全国約400ヶ所の灌漑排水施設について、アンケート調査し、数量化理論を用いて分析を行う。

④低位部に水源をもつダム群の最適水位操作

自己流域をもたず、水源を平野部を流れる河川からの揚水に頼っている台地上の5つのダム群の最適水位操作の列を河川からの総揚水量を最小にするという条件の下で求める。

⑤水利用の時間集中を考慮したファームポンドの容量算定

畑地灌漑においては、1日に2回(午前と午後)、水利用のピークが現われる。これはハウス化率、作付作物等によって多少異なる。このような水利用パターンを考慮に入れて、ファームポンドの容量の算定を試みる。

研究テーマが多様多様であり、思うように研究が進まない。

亀田伸裕研究室(西-6)——地盤工学



共立大学の学生諸君、こんにちは。私は今春、この大学に赴任したため、COMに初めて載せて頂きます。前の九州大学時代は、「鉱害」を専門に研究していました。皆さんは鉱害と言ってもピンとこないかもしれませんが、九州、特に北九州地区は昔から、石炭を採掘しており、石炭採掘による地表沈下、浅所陥没による被害を被ってきました。皆さんがいる大学のキャンパス付近も採掘されており、グランド後方にあるボタ山は、昔の採掘跡のなごりです。しかし、昭和30年代に石炭採掘は終了しており、現在、地表沈下による直接の被害はありませんが、地下浅所(30m以浅)に残存する空洞は現在でも、しばしば地表に陥没を生じ(これを浅所陥没と言います)地表構造物に被害を与えています。この被害は現在でも筑豊、北九州地区で年間100件程度あっており、このため、旧産炭地域に道路、病院、電話局、鉄道、発電所など重要構造物を構築する場合、この浅所陥没に対する対策が必要となります。

一方、国土の狭いわが国では、土地、資源の有効利用、開発が重要な問題であり、最近では、地下空間を利用した深部での資源開発やエネルギー貯蔵、超電動エネルギーの貯蔵、圧縮空気発電、放射

性廃棄物処分のための貯蔵、石油の地下備蓄などが脚光を浴びています。これらの開発には、地下の地盤の挙動特性を正確に把握することが重要で、それと同時に、開発に伴う人間生活や社会基盤の環境破壊問題を解決することが大切になってきます。私の研究室では、これらの問題提起を基盤にして、地域開発に伴う地下空間の有効利用、そして将来的にはリモートセンシングを用いた地域開発と環境保全の研究を考えています。今年の卒論生坂村維治君には、「コンピュータを用いた廃棄物処理のための地下空間に対する浸透解析」を研究してもらう予定です。学生生活最後の研究、どしどしごきたいと思っています。同君の健闘を期待したい。

園田裕虎研究室(西-7)——地盤工学



私のところでは数年前から「地盤の熱的特性に関する研究」と題して、当学科の松原茂先生の下、他大学の協力も得て研究を行なっている。

今年マルチ(ポリエチレンフィルムの被覆材)を地表に置き、それによる熱的挙動を解明するため、地温と地盤の物理的特性値の観測及び解析を行なっている。観測は卒研生の齊藤敦君が設備・道具の不備と悪天候の中、奮闘している。なお彼の卒研の題目は

「地温におよぼすマルチの影響について」

である。

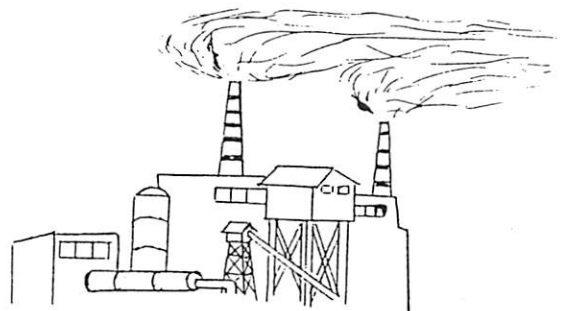
田辺邦美研究室(西-6)——灌漑排水工学



この研究室は灌漑排水、すなわち土壌中の水分一量と質—に中心をおいた植物との関係について、基本的に研究することが主な目的である。

しかし近年における土地利用の傾向として、人類の生活に悪影響を及ぼす環境破壊が大きな問題となってきた。この防止についてはいろいろな分野からの研究が考えられるが、従来の緑地工学の概念を地球規模に拡大し、その研究に興味をもっている。

この工学の研究は灌漑排水の研究と共通する点が多く、かつ土木工学の立場からも将来無視できない部門と考えられる。しかし本学科では未だ実験施設も完備していないので、目下のところ、この工学の大系をつくることから始めたいと考えている。



環境化学科

山本 陽研究室(西-4)——衛生化学



伊波 勇：ミリスチシンの代謝

香川浩二：食用色素改良のための調査

中村為彦：嫌気性菌の産生酵素の薬物代謝への寄与

卒業実験テーマは上記の三つです。当研究室では衛生化学の一分野としての薬物代謝と毒性学について主に研究しています。生物工学的利用の方面についても模索を続けています。

学問の話はさておいて、近頃秋晴のさわやかな窓外を眺めながらよく思います。学生時代は山が好きで久住には、しばしば登りましたが、冬の晴天の早朝、黒土にびっしりと生えた霜柱を、さくさくと登山靴でふみしめながら、一步一步、頂上に至る道すがら先輩や友人と語りあった思い出が残っています。

学生諸君、パチンコなどやめて、九州に来たからには一度は九州最高峰、久住へ、是非あるいて、どうぞ！

片山 平研究室(西-4)——生態遺伝学



近年、バイオテクノロジーに関して、その基礎的研究は勿論であるが、応用面においても最も有望な産業の一つとして産業界から注目されています。

すでに細胞融合や遺伝子組換えの技術は確立され、全く新しい生物の作出が期待されるようになりました。ポマトはその一例です。

当研究室では、有用植物を材料として、薬培養、生長点培養、大量増殖、プロトプラストの分離と細胞融合、作出した個体の染色体変異などについて研究しています。

田代勇司研究室(西-5)——環境微生物学



今から21世紀にかけての『産業革命』のひとつとして、バイオテクノロジー(生物工学または生物機能利用工学)が主役である。その中心的役割を果しているのが微生物である。食糧・医薬品・エネルギー等の生産、環境問題、人口問題に対処するためである。

本講座では天然物や廃棄物をより付加価値の高い物質(医薬品・食糧など)に転換させるといった根本的な考えの下に、微生物を工業的に利用し、または、環境浄化に利用する目的に沿って、生物工学的視点から研究と教育を行なっている。

今年度の4人の卒業生のテーマは、『セルロース(繊維素)分解菌の純粋単離と酵素』及び、『廃棄物からのアルコール発酵』である。

秋貞英雄研究室(西-4)——物理化学



我が研究室では、現在、界面活性剤(洗剤の主成分)を対象にしていくつかの研究を行なっています。健康食品、漢方薬などで話題になっているレシチン、サポニン(朝鮮人参、ウーロン茶の成分)抗アレルギー剤などの成分、これらは天然の界面活性剤です。我々の身体を構成する細胞の原形質膜も大部分、界面活性剤のレシチンからなっています。そのような界面活性剤で構成されている細胞膜、細胞内器官は、酵素合成、物質の取り込み、神経伝達、細胞認識(血液型など)に重要な役割をはたしています。私達の現在の研究主題は、界面活性剤の基本的性質の詳細を明らかにすること、その研究成果で、細胞融合、酵素合成を、界面化学的立場で解明することです。その成果は、より高度の細胞融合などに役立てるのではないかと期待しています。実際の実験は、機器のメーターの針の読みを記録したり、実験用溶液を作ったり、得た結果を公式に入れて計算したりのいたって単純なものです。

研究室のメンバー：助手 萩尾真由美、卒業生 石丸清樹

卒業生テーマ：界面活性剤CMCにおける2価有機性対イオンの鎖長効果

吉川博道研究室(西-3)——生態化学



今年で本研究室のボスは41歳になりました。

40歳不惑とはいいながら、彼は卒業生のテーマで悪い続けています。「40歳になれば『促進』などという言葉の伴う研究はやめた」などと考えているらしく、植物生育阻害ホルモン=アブシジン酸についての研究が研究室のメインテーマです。助手の宮崎さん、卒業生の真鍋君と私の3人とも、同一テーマでの研究を行っています。

研究室の1日は、朝9時から夕方5時までとなっていますが、実験をくぎりのよいところまでしますので、夜7時・8時まででなくことはめずらしくありません。

実験のあいまをみても、花嫁修業としての「お茶くみ」と体力増進のためのスポーツ、あるいは社会情勢やその他一般常識についてのお勉強及び知識吸収を行っております。

なお、ボスはまだひと花さかせたい希望もかすかにあるらしく、4月からは植物の開花ホルモンについての研究も始める予定のようです。

PS. 我が研究室では、何事にもめげない体力と精神力をお持ちの方及び養いたい方を歓迎します。(文責 藤本)



日高秀夫研究室(西-5)——資源生物学



昨年(1987年)10月、愛媛大学より赴任しましたが、大学院生や卒論生の指導など、むこう(農学部環境保全学科環境化学研究室)での研究の後始末のため、半年間は毎週、関西汽船で往復しました。1987年春、引越しを完了し、資源生物学研究室を開いたわけですが、前任者がいなかったため実験器具一つないゼロからの出発となりました。

北九州にきて最も驚いたことは、100万都市の中心地、小倉を流れる紫川に近年、天然アユが遡上するようになったという事実です。遡上量は年毎に増え、1986年には遡上を途中で妨げていた新日鉄の取水堰に魚道がつけられました。

九州共立大学報、昭和63年7月1日号に書きましたが、私がこれまでやってきた研究と紫川のアユの復活はぴったり一致します。すぐには実験設備が整うはずもないので、当面はせっせと紫川にかよひ、アユとそれに熱心にかかわってきた人達と交友を深めながら、じっくりと研究態勢をつくっていきたいとおもっています。

紫川をはじめとする河川環境改善の問題と、その基礎的研究としての魚類の行動研究に興味と意欲をもつ、元気な学生の入室を待ち望んでいます。

また、紫川は、専門を異にする広い分野の人にとっても魅力ある研究対象だとも思います。紫川を通して北九州の過去・現在・未来を考える学際的な「紫川研究会」をつくりませんか。

藤 普子研究室(西-5)——有機化学



食用として広く用いられているシイタケ(担子菌類)は中国では古くから不老長寿の妙薬として知られており、多くの効用があるとされている。近年、このシイタケより単離された多糖類レンチナンは抗ガン剤として臨床的に使われるようになった。同じ担子菌類に属するブクリョウやチョレイなどは漢方薬の数多くの処方例に用いられている。

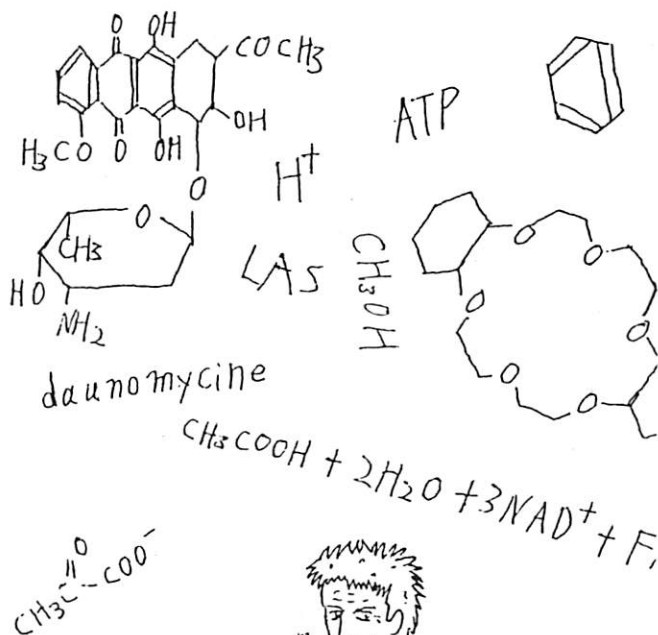
このように担子菌類には生理活性を有するものが多いことから、現在ではバイオ技術(タンク培養など)による物質生産も行なわれている。

当教室の研究分野は靈芝、チョレイ、ブクリョウなどこれら担子菌類に含まれる活性成分の単離精製、構造解析、生理活性などについての研究である。

本研究はまだ緒についたばかりであるが、いずれは組織培養による物質生産、有効成分を多量に含む新品種の育成などすこしずつバイオ技術を導入する予定である。

卒業実験テーマ

花田美由記：生理活性成分の生化学的研究

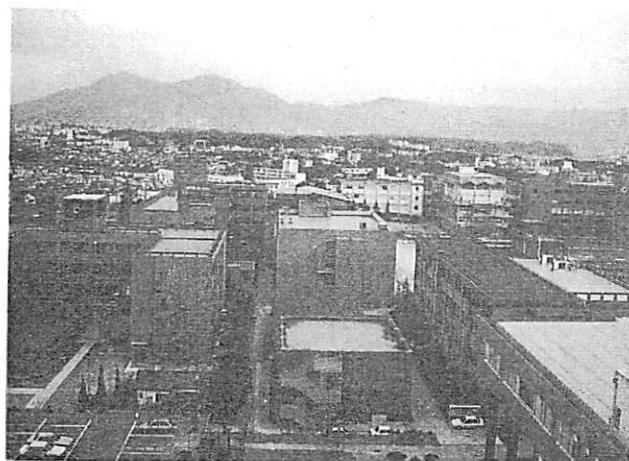
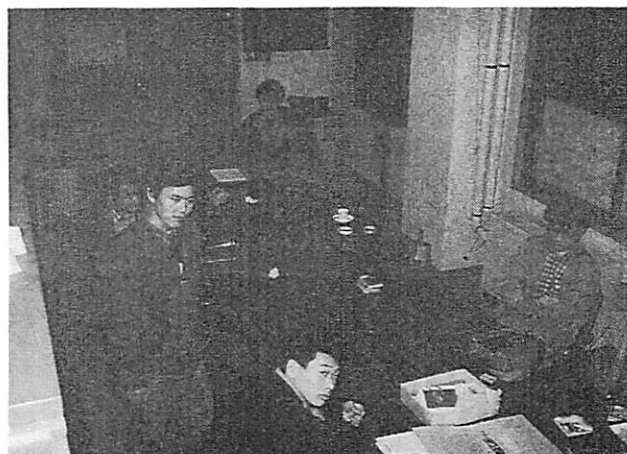


あなたの知らない世界

～COM編～



ある日の工学会室



学園風景



講演会



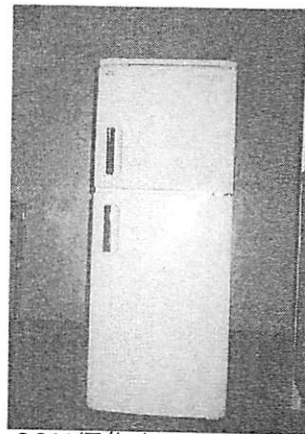
飲み会 会場にて



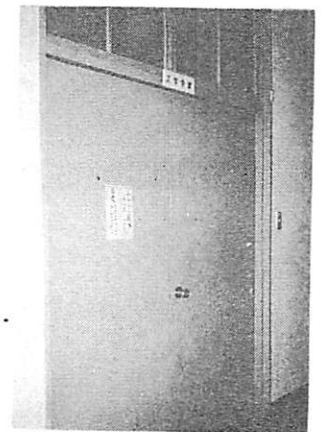
飲み会 出席メンバー



第2次飲み会 会場(バー)にて



COM編集室の
ニューフェイス



ドアの向う側には
未知の世界が待っている

COMの編集をして早一年が経過し、なんとか完成して、これで晴れて自由の身となります。この期間、案を出し、取材をして、原稿を上げて修正されながらもCOMの完成に向って行きました。完成までの道のりは、苦しい事もありましたが、その中にも楽しい時もありました。時には、思案する時でも雑談が多かったりする時もあり、自分達の知らない他の科の情報を交換をしあったり、また、打ち上げ会も数回したりしました。また、試験前日まで編集に追われ結果は知るべしもない。

終わってみると思い出となり、いい経験でした。

編集後記

今回で第6号となったCOMですが、学内でも友人が編集委員をやっていないかぎり、COMという雑誌を知らない人の方が多いのが現状です。そのため、今回、COMをより興味をもって続んでもらい、そして、折尾を見なおしてもらいたくてこの特集を始めました。この特集を進めるにあたって、卒業する者にとっては、折尾という町の思い出として、新入生にとっては、折尾の事を知ってもらうための雑誌として作り上げようと心がけました。

しかし、皆未経験者ばかりで何をやっていけばよいのかわからずに進めたため、人数がへり、やむおえず、補充員を入れる事により、ハッパがかかり、それにより出来たのが、今回のCOMであり、編集委員です。

又、このCOMを続けて下さった方で、自分もこの雑誌の作成を試みたいと思う方は、是非気兼ねなく参加して下



学生編集委員長

松本 健

さい。

最後に、COM第6号を作成するにあたって御協力して下さいました諸先生方、学生の皆様、関係者の方々に編集委員一同より御礼を申し上げます。

◇ 学生編集委員



◆福岡 和明

COM編集委員ではない。引っ張り込まれて仕事をやらされた。終わったら、恋しいフトンに入って寝ると思っていたのに、実験レポートが待っている。フトンに心ゆくまで入れる日は遠い。



◆清原三保子

毎年、みんなメ切り間際で必死になって本当に御苦勞様でした。どんなイヤな仕事だったとしても何かメリットがあったはず。これからも良いCOMを作る様ががんばって下さい。



◆松浦 信仁

私は、先生から工学会委員になれ！と言われた時、なんの集会かな？と思いつつ工学会室に入ったが、いきなり雑誌の製作と聞かされて、文章力のない私にとって地獄だった。



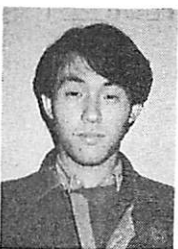
◆手島 功一

COM編集委員をやって、人を引きこむだけで、仕事らしいことをまったくやらずに終わった感じなのでこれでいいのかなと思う。



◆河内 建二

やっとCOMから免れることが出来るかと思うと非常に嬉しい。というと大層活躍した感じがしますが、あまり活躍はないのが実情です。引き続き編集委員をやる人、新規委員になる人、頑張ってください。



◆高野 敏

今、振り返って見ると様々な事がありました。終り良ければ全てよし、と言えるのではないのでしょうか。

みなさん、ご苦勞様でした。



◆実松 忠義

『コムにおちて』COMとは、甘くておいしい底無し沼みたいなもので、右手ぐらい貸してもいいかなぐらいの『かる〜い』気持ちで入ったのに、今では肩までどっぷり浸ってCOM色に染まっている。(うっ、動けない。)



◆伊藤 英助

町には、それぞれの歴史があり、それぞれの匂いがある。日本中の町がそれを捨て、小東京化する今は、東京が東京でなくなり、日本が日本でなくなる。亡びの時代なのかもしれない。



◆細野 義則

編集委員のお荷物といわれつつけて約半年、たんなる暇つぶしのために来たため、仕事もせずに迷惑のみ、かけつづけたことを心のすみですこしだけ反省する今日このごろ。



◆中嶋 正人

僕は、後から補充員としてCOMに入りました。只飯が食えるのに釣られて入ったので、それなりの仕事はかきませんでした。面倒な事は全て他の人に回してしまいました。(楽でした。)



◆山中 秀高

途中から引っぱられて入ったが、サークルの方で試合があり、COMの方に出てこれない日があり、自分だけが、あれよあれよと終わったような感じです。

みなさん、ご苦労さまでした。

他の編集委員

- ◆寺岡 博満
- ◆中川 英成
- ◆池田 陽三
- ◆大西 理裕

◇ 数職員編集委員

- 山崎 直也
- 牧原 義一
- 福田 順子
- 藤 普子
- 永田 恭敬



COM 編集委員 昭和63年 12月 撮影

*** COM * 名称由来**

"COM"は、communication, community, companion, commonなどの英語の接頭語です。それは、with, together, altogether, completely すなわち「皆さん一緒に」と言う意味を持っています。この意味は、この雑誌の目的である教職員、学生の交流と一致します。そのような訳で、その新鮮な語感とあいまって、この雑誌の名称に決定されました。



発行 **九州共立大学工学部**

〒807 北九州市八幡西区自由ヶ丘1番8号

TEL 093-691-3331・3333